

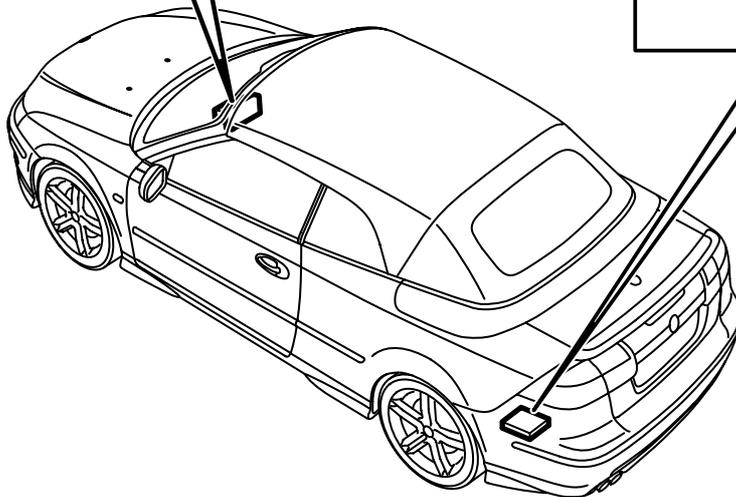
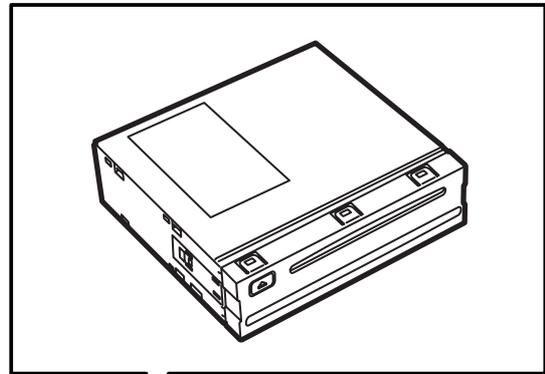
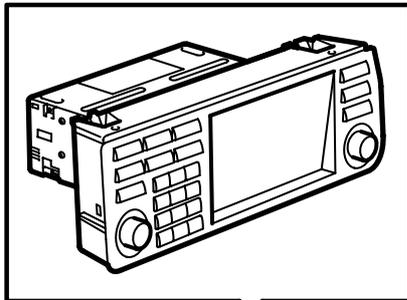


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

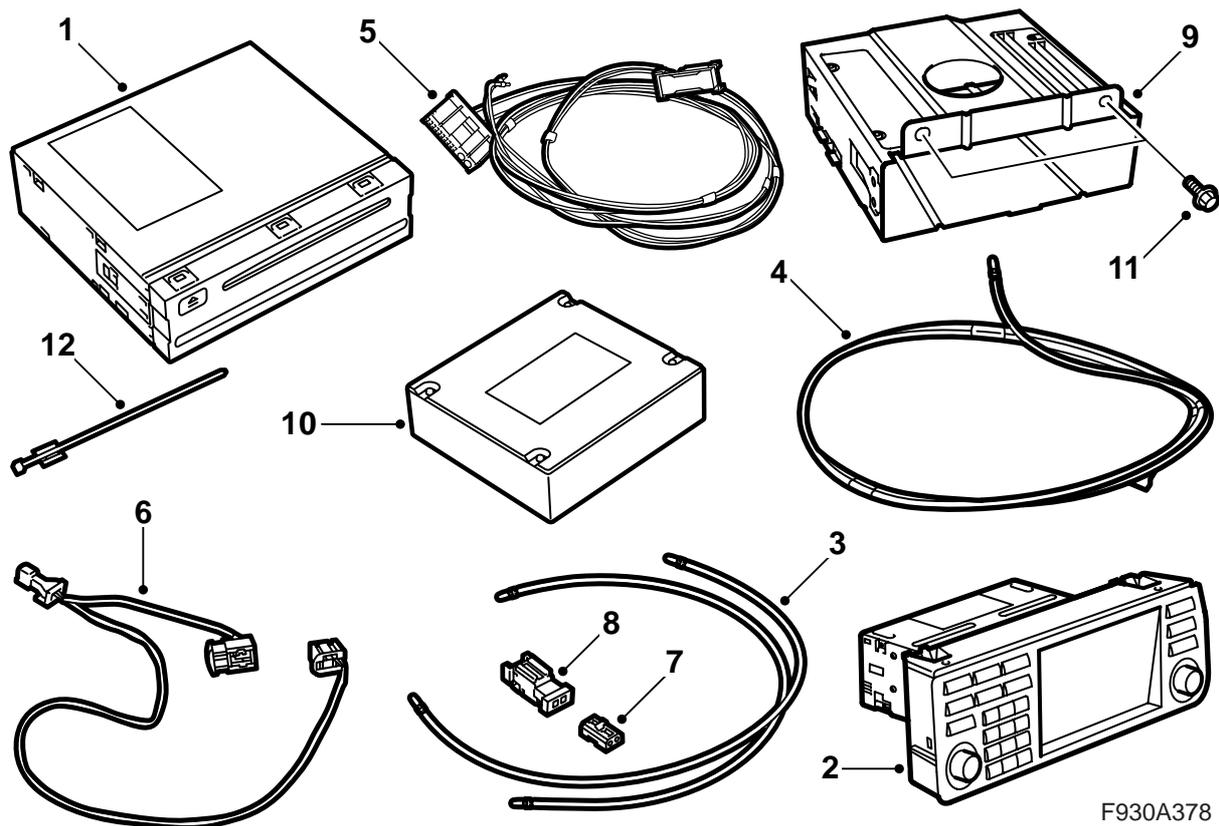
Saab 9-3 CV M04-

ナビゲーションシステム

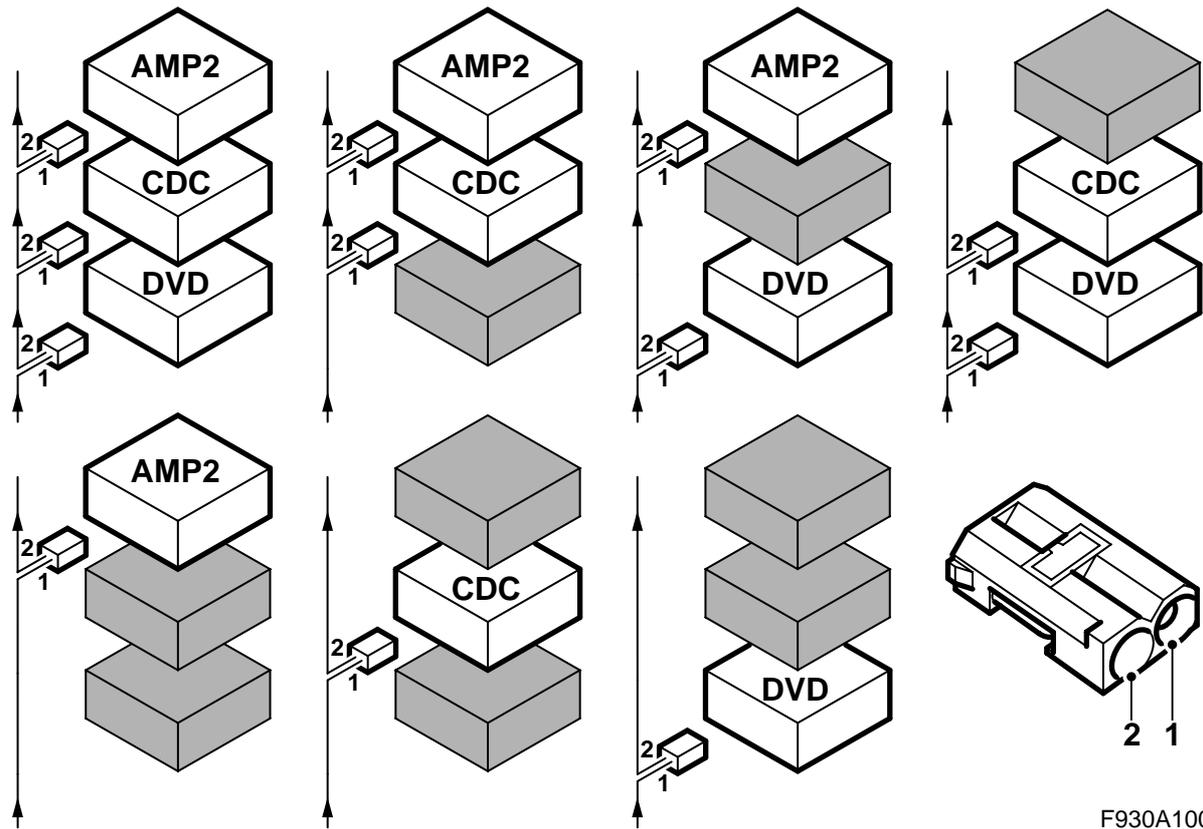
Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 832 506 12 832 507 12 832 520 12 832 522	9:51-03	Jan 04	12 832 516	12 832 516 Aug 03



F930A259



- | | |
|---|--|
| <p>1 DVD プレーヤー</p> <p>2 操作パネル</p> <p>3 光ファイバーケーブル (x3)</p> <ul style="list-style-type: none"> - トランクルーム (ラゲッジスペース) のブラケット内にあるユニットの間をつなぐケーブル (全長 455 mm) - アンプと DVD プレーヤーの間をつなぐケーブル (全長 1850 mm) - DVD プレーヤーとトーションボックスの間をつなぐケーブル (全長 1195 mm) <p>4 光ファイバーケーブル(Aピラーとトーションボックスの間をつなぐケーブル、全長 2770 mm)
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 にのみ)</p> <p>5 光ファイバーケーブル付きワイヤーハーネス
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 にのみ)</p> <p>6 ワイヤーハーネス</p> <p>7 光ファイバーケーブル用コネクタ (2 極)
(キット 12 832 506 及び 12 832 507 には 1 本)
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 には 2 本)</p> <p>8 光ファイバーケーブルコネクタ、2 極
(キット 12 832 506 及び 12 832 507 にのみ)</p> <p>9 テレマティークユニット用ブラケット
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 にのみ)</p> <p>10 テレマティークユニット
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 にのみ)</p> | <p>11 ネジ (x2)
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 にのみ)</p> <p>12 ケーブルタイ
(キット 12 832 506 及び 12 832 507 には 1 本)
(キット 12 832 520 及び 12 832 522 には 17 本)</p> <p>その他に以下のパーツが必要 (別途発注のこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トランクルーム内の装置用ブラケット (車種限定) ● アンテナキット (該当車両のみ) ● マイクロフォン (一部の車種のみ) |
|---|--|



バス通信

車の電気システムの多くの部分が、バスを使って相互に通信を行う。バス通信には、P-バス (Powertrain Bus、パワートレインバス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、O-バス (Optic bus、光バス) の3種類がある。オーディオシステムは、ナビゲーションシステムや電話システムなどと共に、O-バスを介して通信を行う。

O-バスは光学式でありリングバスである。2本の光ファイバーケーブルがバス上にあるそれぞれの制御モジュールに接続されており、1本は受信用、もう1本は送信用である。受信したメッセージはそれぞれの制御モジュールで光信号から電気信号に変換され、送信時には光信号に再度変換される。O-バスのデータ転送速度は毎秒25メガビットである。

重要事項

O-バスに接続されている部品は全て特定の順序 (図を参照) で接続されていること、そしてリングが常時閉じていることが非常に重要である。

この取り付け説明書にある記述以外の方法で接続すると、車の多くのシステムが機能しなくなる結果を招く場合がある。

AMP1 とは、左側リアサイドトリムの後方にあるアンプを指す。

AMP2 とは、REC (リアエレクトリカルセンター) そばのアンプを指す。

CDC とは、REC (リアエレクトリカルセンター) そばのCDチェンジャーを指す。

DVD とは、REC (リアエレクトリカルセンター) そばのDVDプレーヤーを指す。

新たな装備を O-バスに接続する際には、必ず既存の装備部品の正しい側に接続すること。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルを85℃以上の高温にさらしてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

重要事項

左フロントシートがパワーシートで、REC (リアエレクトロカルセンター) のそばにブラケットが無い車では、左フロントシートをできるだけ前に移動させて、バックレストを前方に倒す。

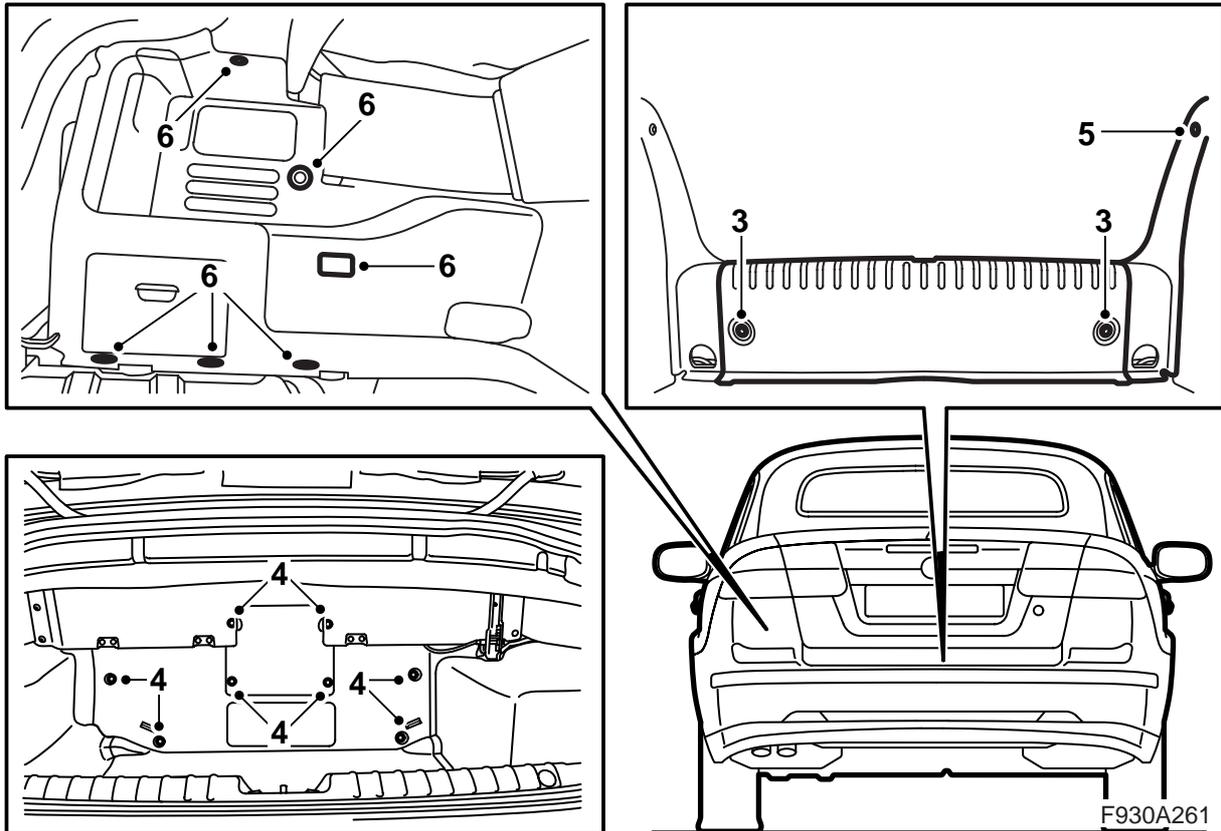
- 1 診断ツールを接続し、インフォテイメントシステムの操作パネルを車から分離する。

重要事項

この制御モジュールは、静電気放電に敏感である。制御モジュール内部の構成部品が損傷しないように、部品の交換は以下の手順に従って慎重に行うこと。

- 手や衣服が絶対に制御モジュールのピンに触れないようにすること。
- 車のボディ/エンジンに触れることで、作業する人自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターの接続を外す。
- 車のボディ/エンジンに触れることで、作業する人自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターを接続する。
- 交換済の制御モジュールは、ピンに触れないように注意しながら返品用の梱包箱に入れる。
- 新しい制御モジュールは、できるだけ包装されたままの状態にしておく。

メニュー「全て」に行き、「追加 / 削除」の項で該当の制御モジュールを選択する。それから「削除」を選択し、後は指示に従う。このときイグニッションキーはONの位置にしておくこと。TIS2000の使用が必要となる場合がある。車から制御モジュールを分離するときには、イグニッションキーはOFFの位置でなければならない。この後なら、制御モジュールを取り外すことができる。



- 2 ソフトトップを上げ、トランクリッドを開ける。
- 3 トランクルームフロアのマットを取り外す。トランクルームのスカッフプレートも取り外す。
- 4 リベットを取り外し、トランクトリムの前部を持ち上げて外す。
- 5 左側のサイドスカッフプレートを取り外す。
- 6 左側サイドトリムのクリップを取り外し、トリムを曲げてどける。サイドトリム裏側のストラップのフックを外し、トランクルームライトからのコネクターを取り外す。サイドトリムを取り外す。
- 7 トーションボックスの中央にアンテナ用の接続があるか、またテレマティークユニットがトーションボックスの中央に取り付けられているか、トランクルームを点検する。テレマティークユニットが取り付けられている場合には、取り外さなければならぬ。その際、コネクターを外さないこと。

アンテナケーブルの接続部が無い場合：手順 8 から作業を続ける。

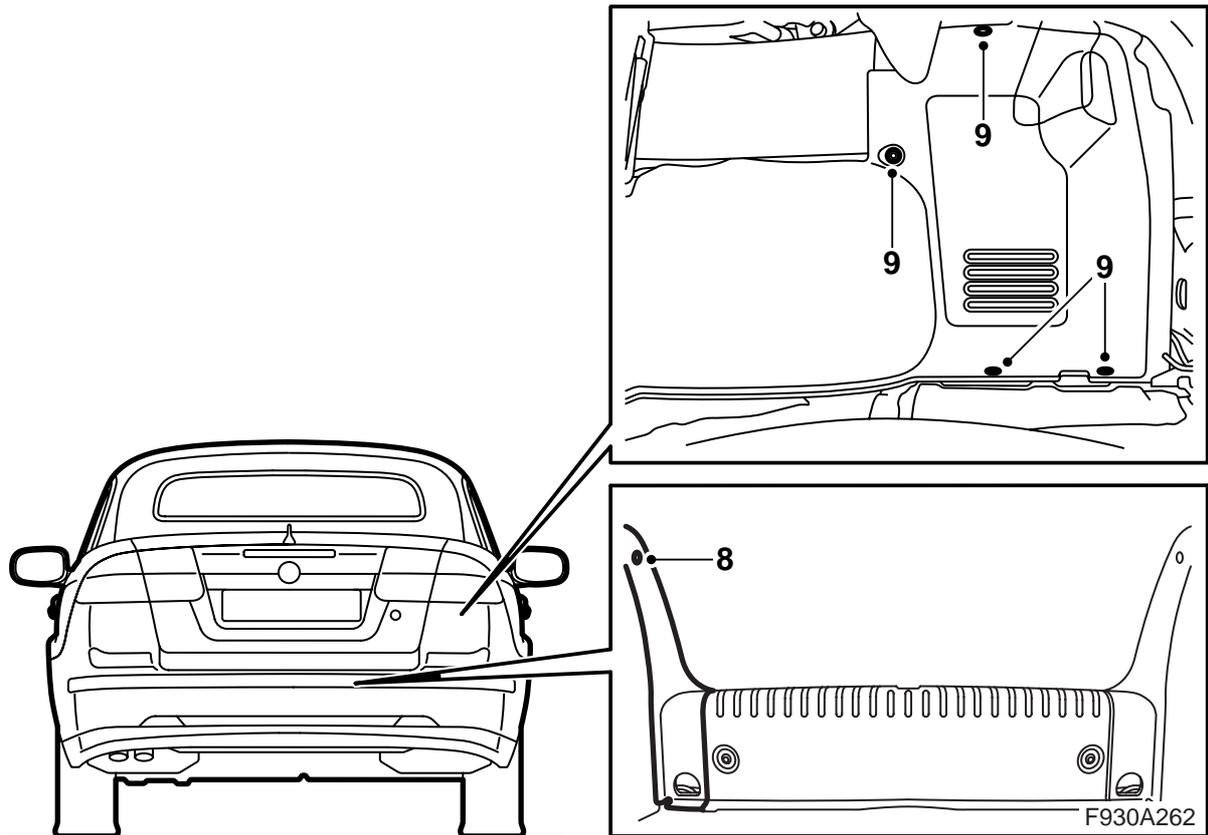
紫色のアンテナケーブル接続部が 1 個だけあり、テレマティークユニットが無い場合：手順 8 から作業を続ける。

青いアンテナケーブル接続部が 1 個だけあり、テレマティークユニットが無い場合：手順 10 から作業を続ける。

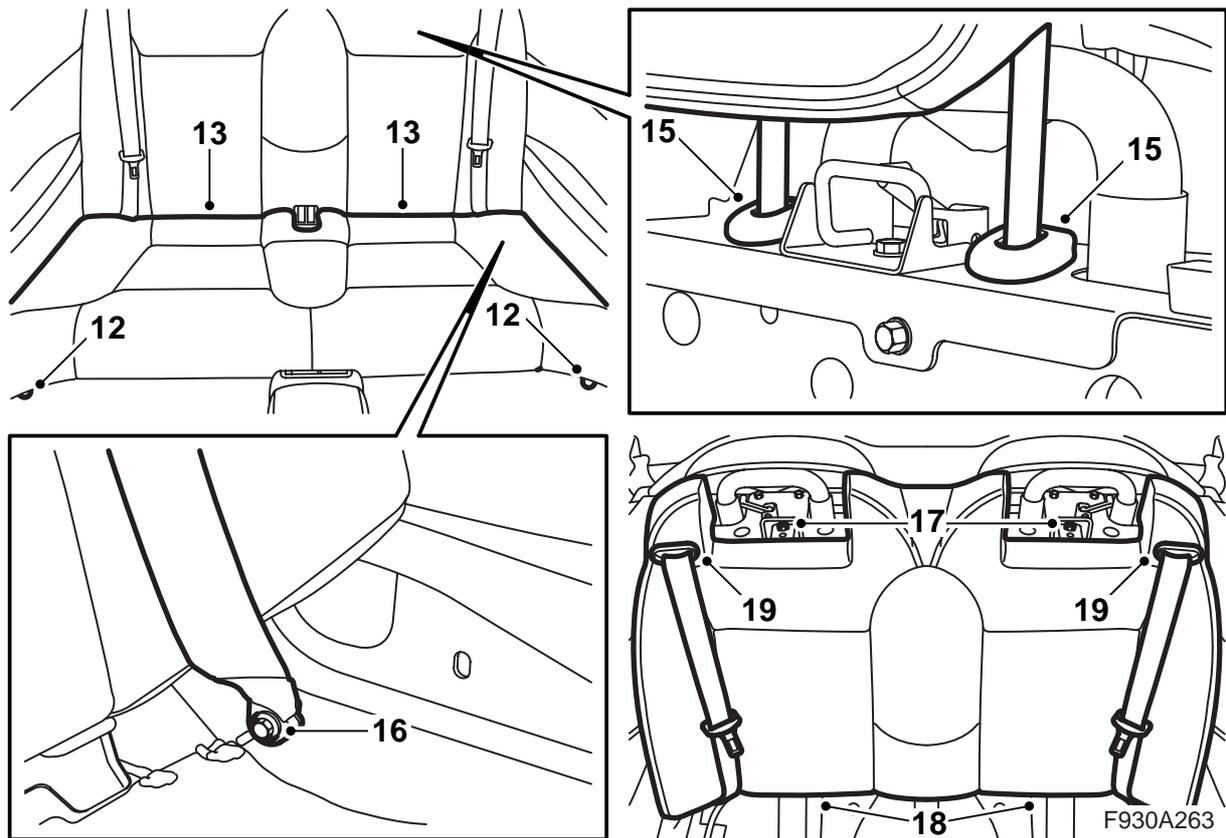
紫色のアンテナケーブル接続部が 1 個だけあり、テレマティークユニットがある場合：手順 8 から作業を続ける。

アンテナケーブル接続部は 2 個あるが、テレマティークユニットは無い場合：手順 10 から作業を続ける。

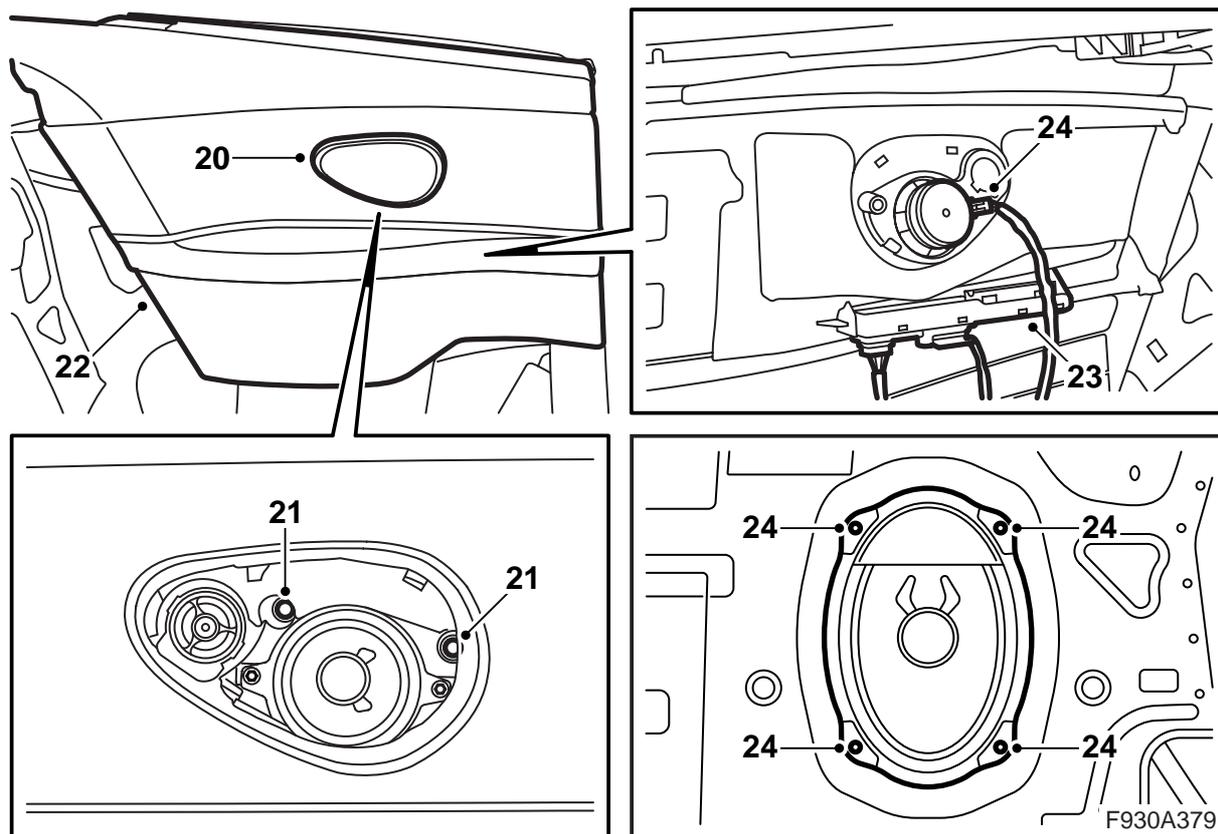
アンテナケーブル接続部が 2 個あり、テレマティークユニットがあるが、紫色のアンテナケーブルのみがテレマティークユニットに接続されている場合：手順 10 から作業を続ける。



- 8 右側のサイドスカッププレートを取り外す。
- 9 右側サイドトリムのクリップを外し、トリムを曲げてどける。サイドトリム裏側のストラップのフックを外し、サイドトリムを取り外す。
- 10 ソフトトップを完全に下げるが、ソフトトップカバーは開いた状態としておく。
- 11 リアのサイドウインドーを両方とも完全に開く。



- 12 リアシートのクッションを前端で固定しているネジを取り外す。
- 13 このクッションを持ち上げ、外れるまで前方に引く。
- 14 リアシートのヘッドレストを両方共、一番高い位置になるまで引き上げる。
- 15 ヘッドレストの取り付け部にあるキャッチを押し込む。キャッチを押し込んだままの状態、ヘッドレストを取り外す。
- 16 シートベルトの下側アンカーポイントのネジを取り外す。
- 17 バックレストの上側固定部の 2 個のネジを取り外す。
- 18 バックレストの下部を前方に引き、バックレストをまっすぐ上に持ち上げる。
- 19 シートベルトガイドをバックレストから押し出し、このシートベルトをガイド及びバックレストから引いて取り出す。



- 20 スピーカーグリルを、左側リアサイドトリムから注意深く取り外す。取り外しツール（品番号：82 93 474）を使用すること。
- 21 リアのサイドトリムを左側サイドに固定しているネジを取り外す。
- 22 サイドトリムを持ち上げる。ゴムの保護材がある場合は、これを紛失しないようにしておく。
- 23 制御モジュールをサイドトリムから滑らせて取り外す。ただしこのとき制御モジュールのコネクター接続は外さないこと。さもないと故障コードが設定されてしまう。
- 24 スピーカーのコネクター接続を外し、サイドトリムを取り外す。

重要事項

車に高音域スピーカーがある場合には、このスピーカーと中音域スピーカーの間のワイヤーハーネスが全スピーカーに接続された状態を保つため、コネクターを分割する必要がある。

低音スピーカーまたはカバーを取り外す。

- 25 もう一度、以下に挙げる選択肢に従って、トーションボックスの中央にアンテナケーブル用の接続部があるか、またトーションボックスの中央にテレマティークユニットが取り付けられているか、それぞれ確認する。また、紫色のアンテナケーブル接続部が右側シートベルトの下側アンカーポイント付近にあるかも確認する。それからソフトトップを上げる。

トーションボックス内にアンテナケーブル用の接続部が無く、右側シートベルトの下側アンカーポイント付近に紫色のアンテナケーブル接続部がある場合：手順 26 から作業を続行する。

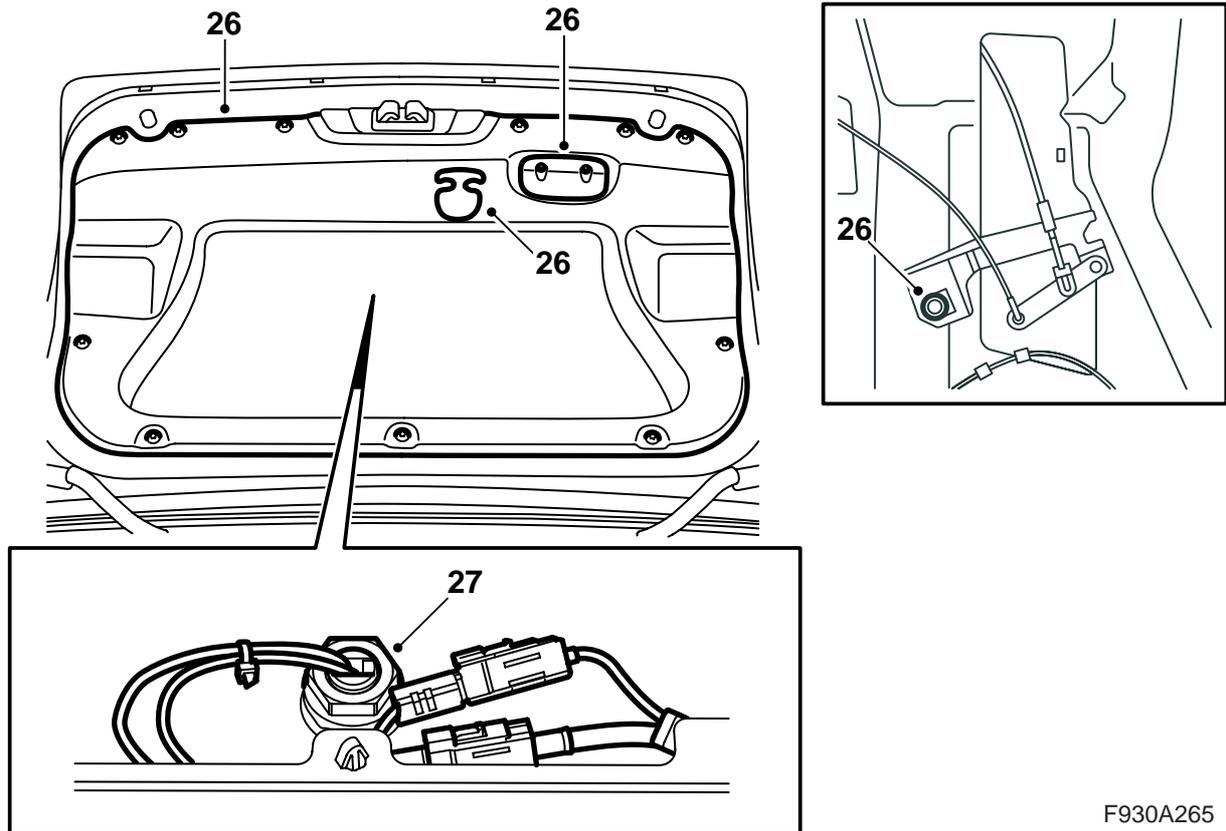
トーションボックス内に紫色のアンテナケーブル接続部が1個だけあるが、テレマティークユニットは無く、右側シートベルトの下側アンカーポイント付近にアンテナケーブル接続部が無い場合：手順 26 から作業を続行する。

紫色のアンテナケーブル接続部が1個あり、テレマティークユニットがあり、右側シートベルトの下側アンカーポイント付近にアンテナケーブル接続部が無い場合：手順 26 から作業を続行する。

トーションボックス内に青いアンテナケーブル接続部が1個だけあるが、テレマティークユニットは無く、右側シートベルトの下側アンカーポイント付近に紫色のアンテナケーブル接続部が1個ある場合：手順 41 から作業を続行する。

トーションボックス内にアンテナケーブル接続部が2個あるが、テレマティークユニットは無く、右側シートベルトの下側アンカーポイント付近にアンテナケーブル接続部が無い場合：手順 41 から作業を続行する。

トーションボックス内にアンテナケーブル接続部が2個あり、テレマティークユニットがあるが、紫色のアンテナケーブルのみが接続されていて、右側シートベルトの下側アンカーポイント付近にアンテナケーブル接続部が無い場合：手順 40 から作業を続行する。



F930A265

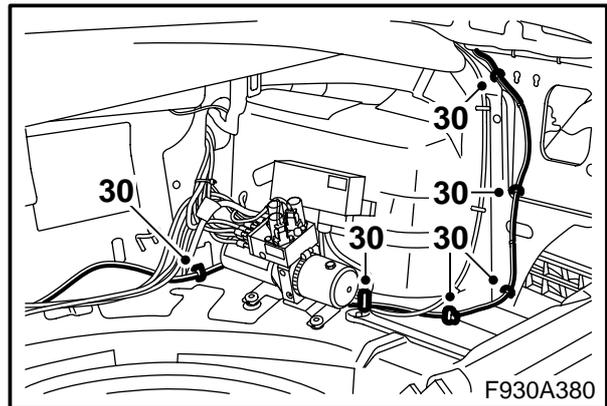
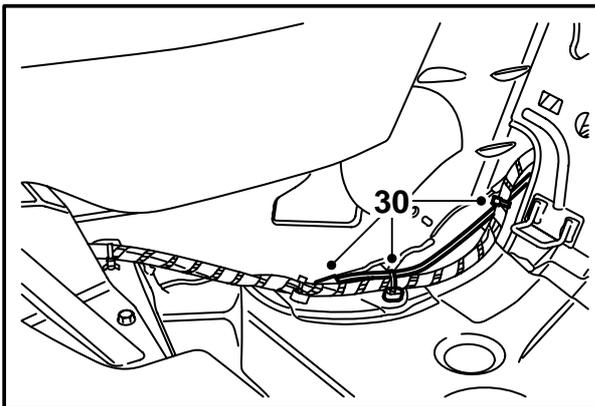
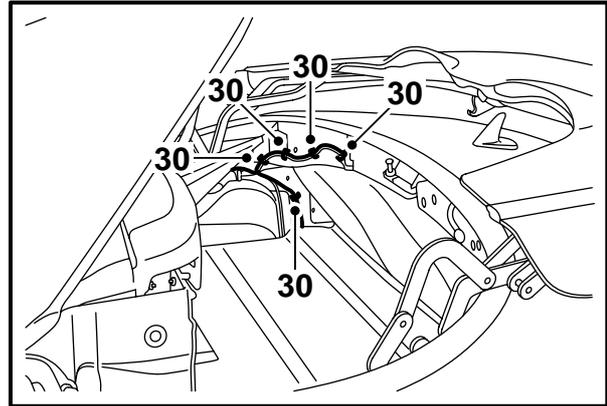
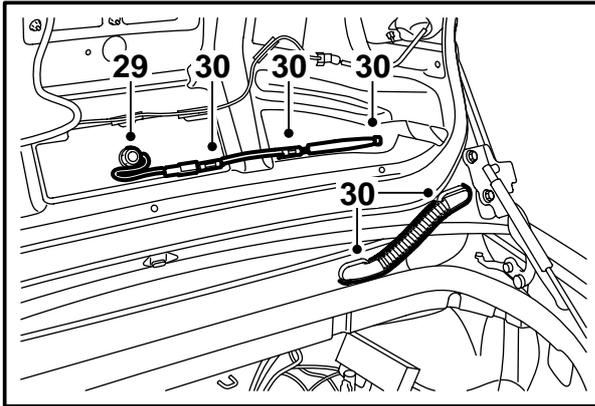
26 トランクリッドのトリムを以下の手順で取り外す：

- **US**：非常オープンハンドルを取り外す。
- トランクリッド内側にある、トランクリッドのクローズハンドルを取り外す。クリップ及びトランクリッドのトリムを取り外す。
- **US**：緊急リリースハンドルメカニズムのボルトを取り外し、メカニズムを脇にどけておく。

27 アンテナからアンテナケーブルの接続を外し、アンテナを取り外す。

28 **アンテナケーブルがさらにトーションボックスの中央へ向けて配線されている車**：手順 36 から作業を続行する。

アンテナケーブルがさらに車の前方向に配線されている車：手順 29 から作業を続行する。



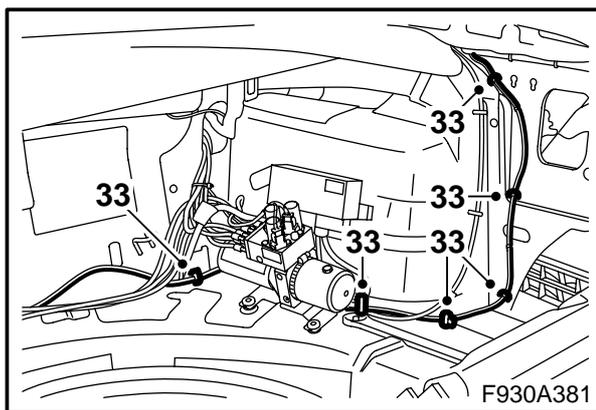
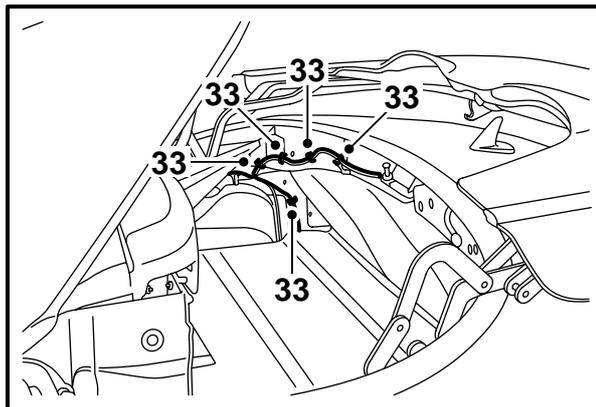
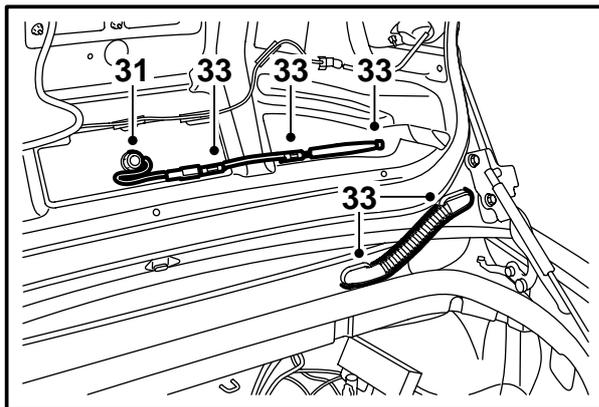
- 29 キットのアンテナを取り出し、アンテナケーブルをトランクリッドの穴に通す。アンテナを取り付ける。

締め付けトルク : 2 Nm (1.5 lbf ft)

- 30 既存のアンテナケーブルを、リアシートそばの分岐点まで、完全に取り外す。このアンテナケーブルは電話アンテナとラジオアンテナが共用するケーブルから成っているため、ラジオアンテナのケーブルコネクターも取り外す必要がある。ロッククリップをリリースするためには、これらのコネクターを完全に押しまとめる必要がある。

注記

アンテナケーブル全体にアクセスするには、トランクリッドが閉じており、ソフトトップカバーが開いていなければならない。

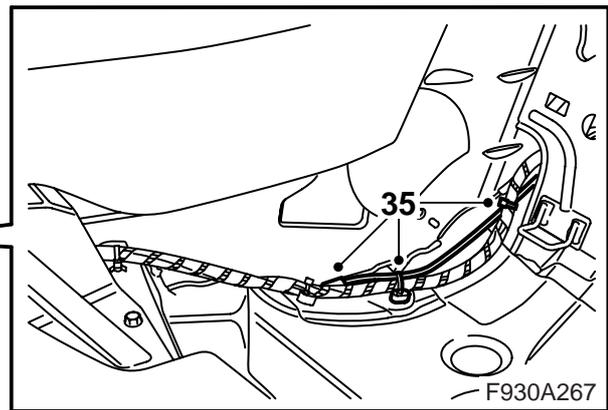
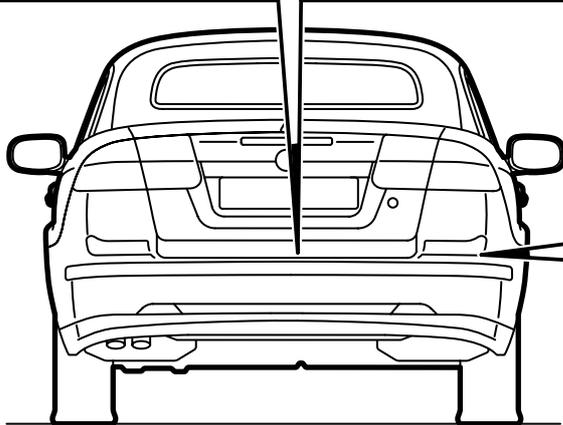
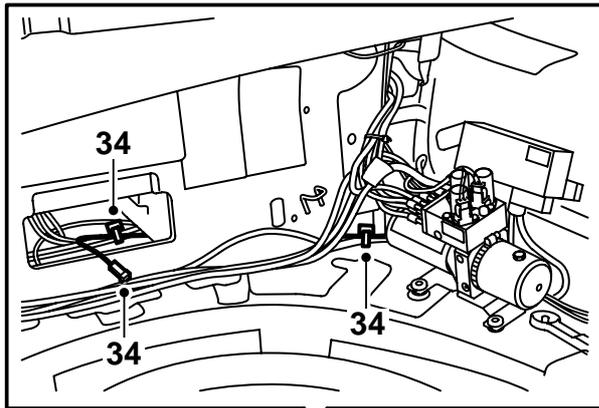


- 31 キットのアンテナケーブルをトランクリッド内に位置づけ、これをアンテナと接続する。
- 32 キットのアンテナケーブルを既存のケーブルと同じようにトーションボックスまで配線する。

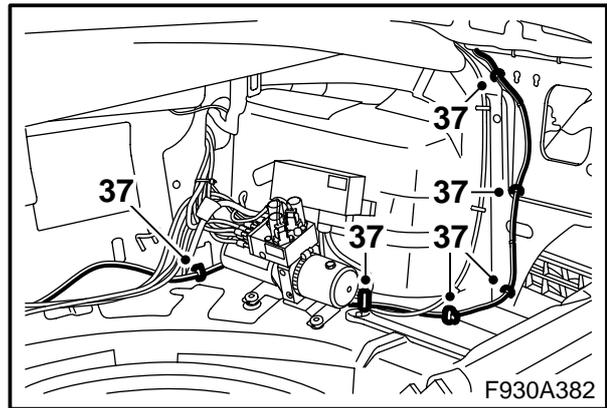
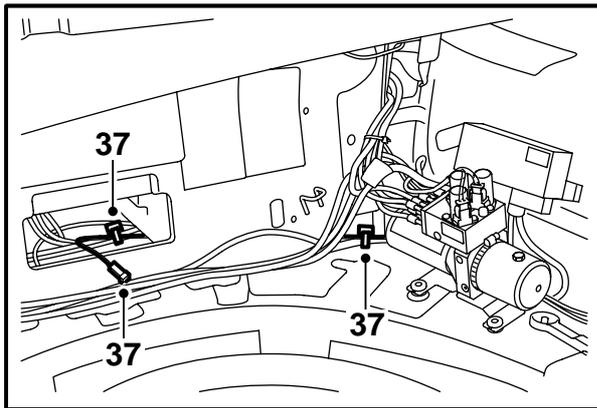
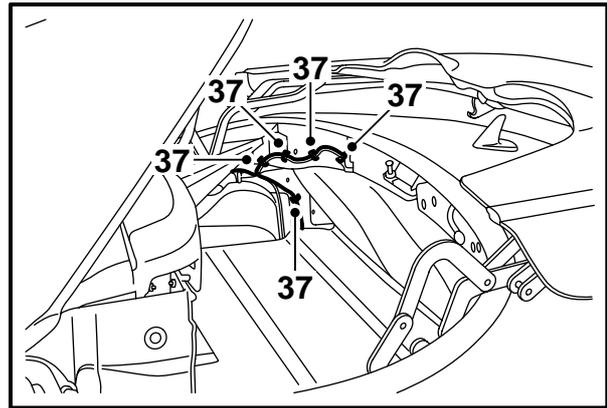
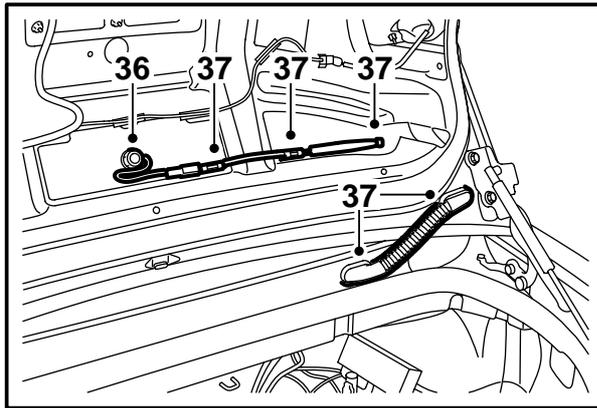
注記

アンテナケーブル全体にアクセスするには、トランクリッドが閉じており、ソフトトップカバーが開いていなければならない。

- 33 アンテナケーブルを、ボディ及び既存のワイヤーハーネスに固定する。



- 34 青いコネクターの付いた細いアンテナケーブルをトーションボックス内に通し、トーションボックスの中央まで配線する。このアンテナケーブルを既存のワイヤーハーネスのところで固定する。
- 35 紫色のコネクターの付いた太いアンテナケーブル、及びラジオアンテナ用の丸いコネクターの付いたアンテナケーブルを、トーションボックスを通してリアシートまで配線する。太いケーブルを車内前方に向けて配線されているアンテナケーブルに接続し、これを既存のワイヤーハーネスにケーブルタイで固定する。手順 39 から作業を続行する。



- 36 キットのアンテナを取り出し、アンテナケーブルをトランクリッドの穴に通す。アンテナを取り付ける。

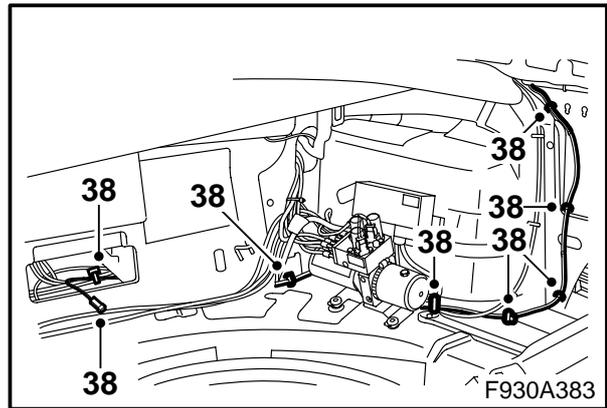
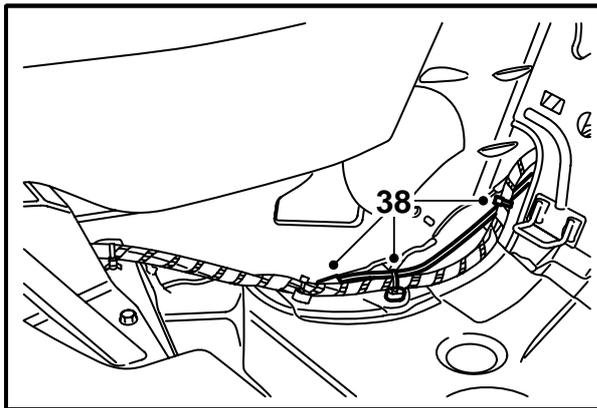
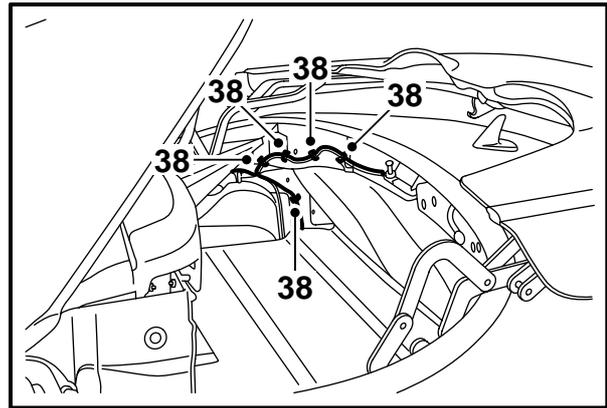
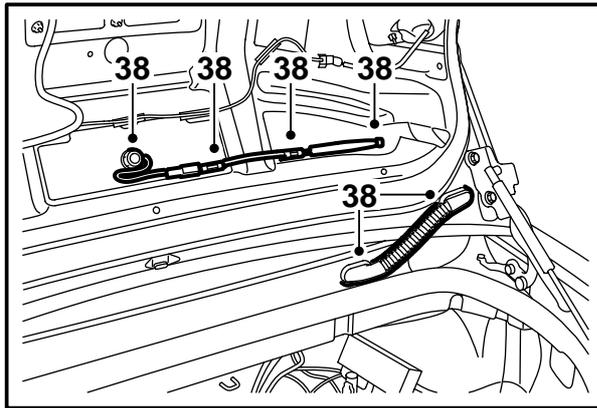
締め付けトルク : 2 Nm (1.5 lbf ft)

- 37 既存のアンテナケーブルを、テレマティークユニットまで、完全に取り外す (ある場合)。このアンテナケーブルは電話アンテナとラジオアンテナが共用するケーブルから成っているので、ラジオアンテナのケーブルコネクターも取り外す必要がある。ロッククリップをリリースするためには、これらのコネクターを完全に押しまとめる必要がある。

テレマティークユニット付きの車: アンテナケーブルをテレマティークユニットから取り外す。

注記

アンテナケーブル全体にアクセスするには、トランクリッドが閉じており、ソフトトップカバーが開いていなければならない。

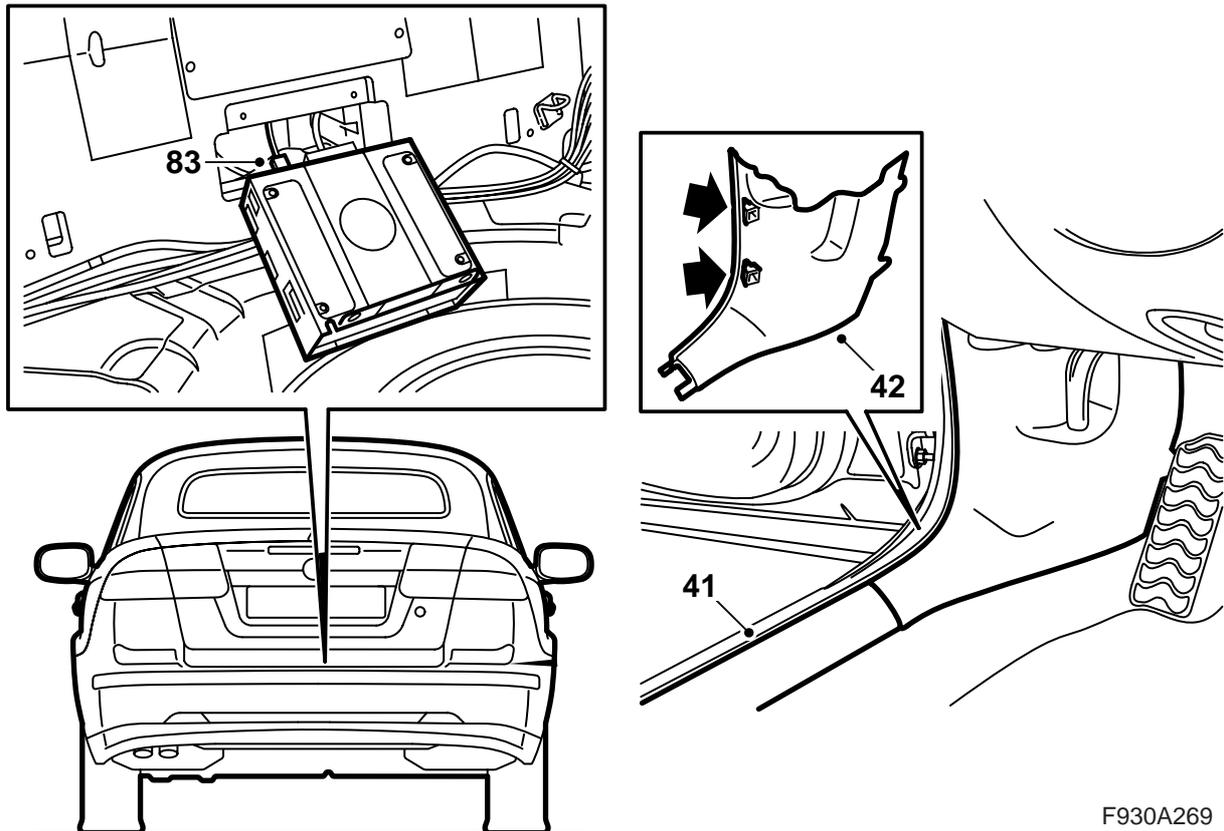


- 38 キットのアンテナケーブルをトランクリッドに位置づけ、これをアンテナと接続する。キットのアンテナケーブルを既存のケーブルと同じようにトーションボックスまで配線した上、丸いコネクタ付きのラジオアンテナケーブルをトーションボックスを通してリアシートに届くまで配線する。

注記

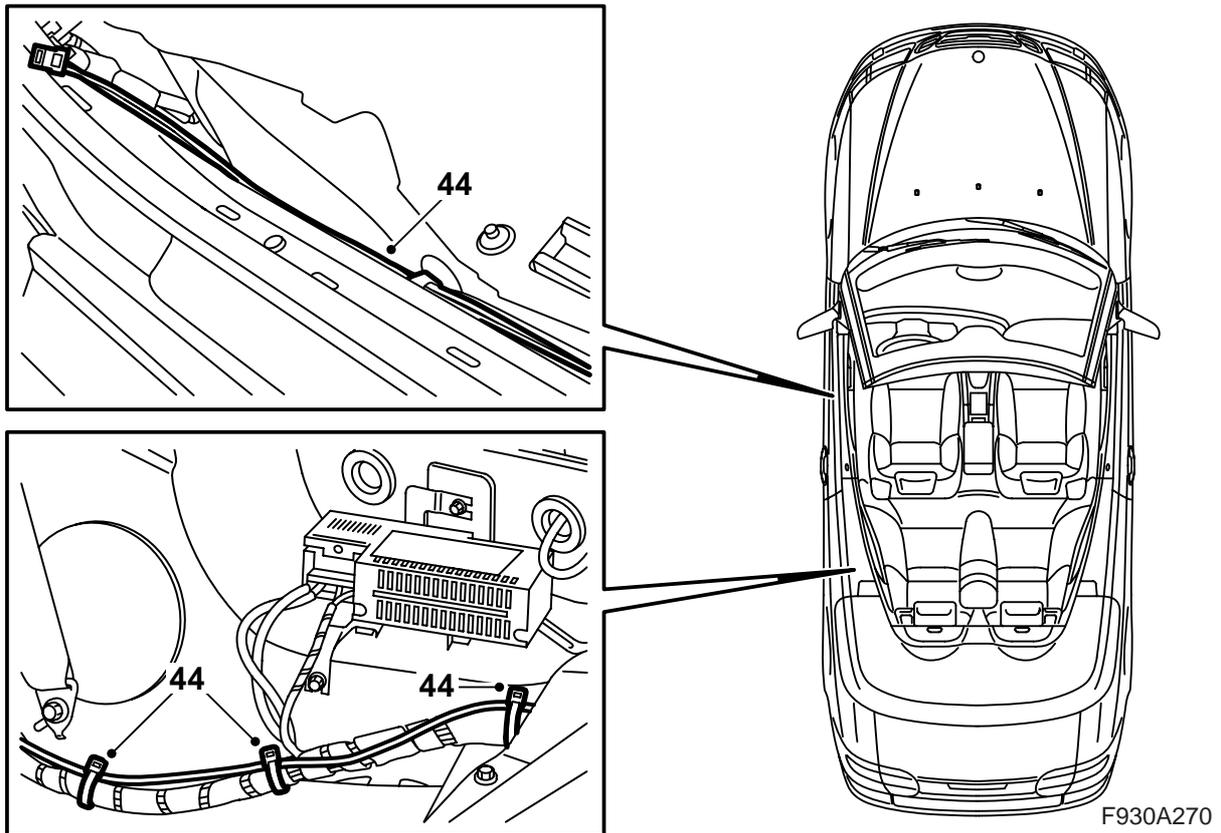
アンテナケーブル全体にアクセスするには、トランクリッドが閉じており、ソフトトップカバーが開いていなければならない。

アンテナケーブルを、ボディ及び既存のワイヤーハーネスに固定する。



F930A269

- 39 トーションボックスの中央にテレマティークユニットがある車：手順 40 から作業を続行する。
 トーションボックスの中央にテレマティークユニットが無い車：手順 41 から作業を続行する。
- 40 アンテナケーブルをテレマティークユニットに接続する。
 トーションボックスの中央にテレマティークユニットがあり、REC(リア電気リカルセンター)のそばにブラケットが取り付けられている車：手順 106 から作業を続行する。
 トーションボックスの中央にテレマティークユニットがあり、REC(リア電気リカルセンター)のそばにブラケットが取り付けられていない車：手順 84 から作業を続行する。
- 41 左側のスカッフプレートを取り外す。
- 42 左側Aピラートリムのアンダーパーツを取り外す。



- 43 **手動の運転席シート:** 左リアシートを一番前方の位置にして、バックレストを前に倒す。
- 44 Aピラーとトーションボックスの間をつなぐファイバーケーブルをキットから取り出す。このケーブルを、左下Aピラーそばにあるコネクターから、シルに沿ったワイヤーケーブルを経由してリアシートの下を通し、トーションボックス内の左ロールバーまで配線する。ファイバーケーブルをケーブルタイで固定する。

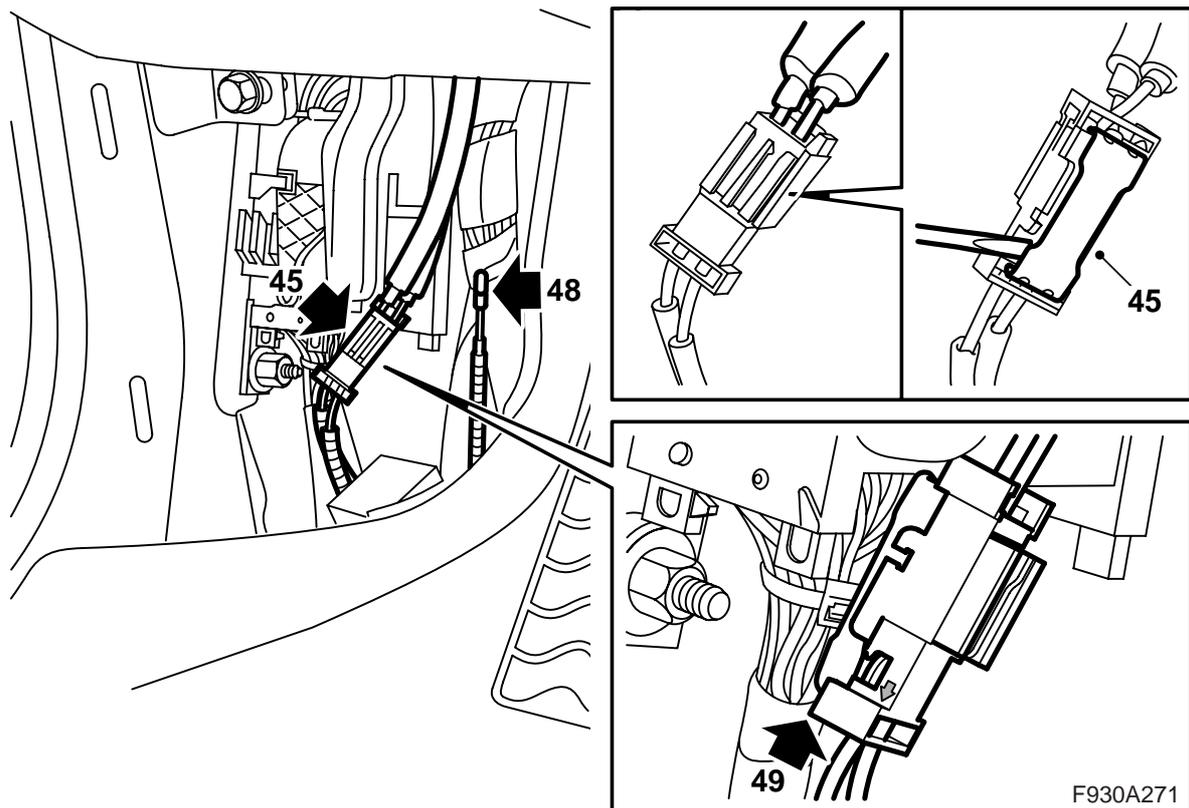
注記

ルート全体にアクセスするには、シートを後方位置にしなければならない。その後、シートを前よりの位置に戻す。

重要事項

信号に歪みが出ないように、光ファイバーケーブルは注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



45 バッテリーのマイナスケーブルを取り外す。左下方 A ピラーそばにある、ファイバーケーブルに接続された分岐コネクタを見つける（ケーブルダクトにテープで固定されている）。このコネクタのロックプレートを持ち上げる。

⚠ 警告

赤色可視光線は、レーザークラス 1 である。至近距離で光ファイバーまたは制御モジュールコネクタを覗き込んではいならない。目と光源の間の距離が 20 mm 未満であると、光線によって目を損傷する可能性がある。

46 コネクタの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置からファイバーケーブルを取り外す。

47 キットのファイバーケーブルの接続部から保護具を取り外す。

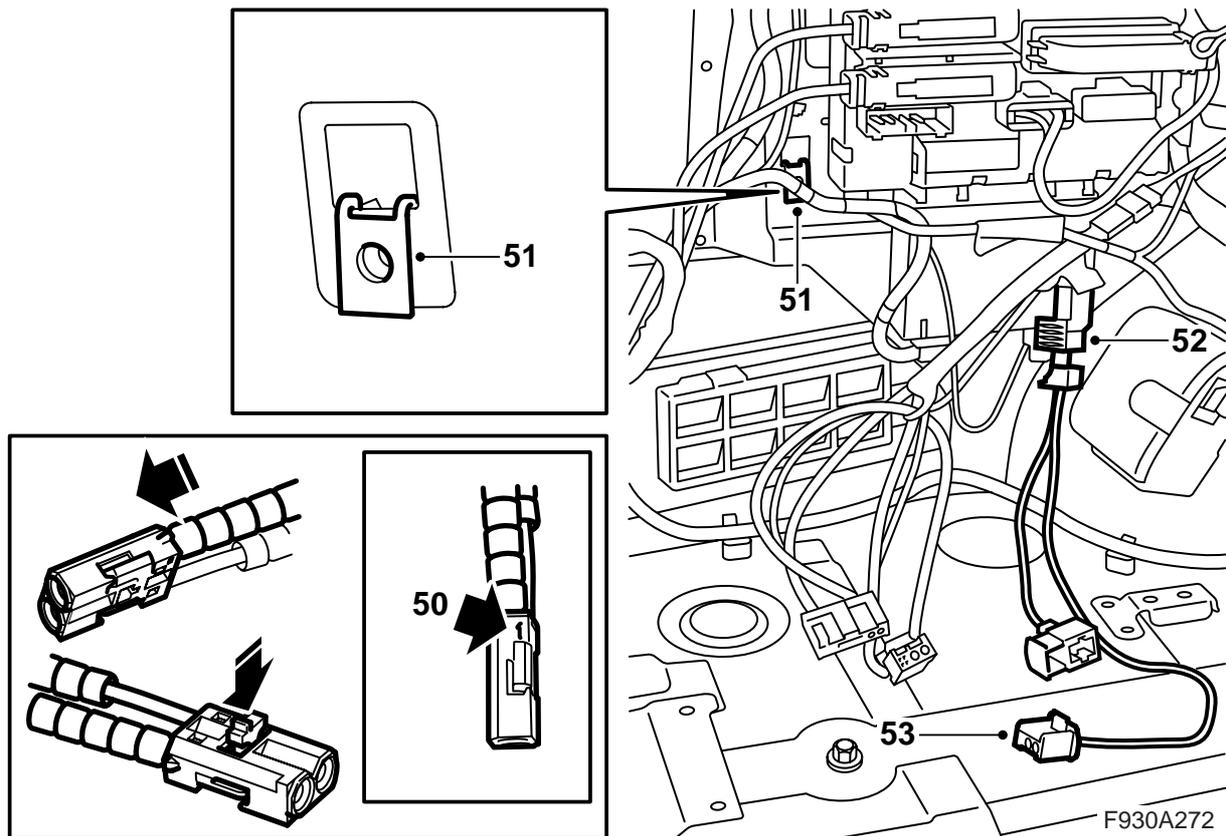
48 取り外された接続部にカバーを取り付け、損傷しないようにして慎重に邪魔にならないようにどけ、ワイヤーハーネス後方に配置する。

49 この分岐コネクタに、手順 44 で取り付けたファイバーケーブルの接続部を取り付け、ロックプレートを取り付ける。

重要事項

信号に歪みが出ないように、光ファイバーケーブルは注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の 2 本のケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



50 手順 44 で取り付けしたファイバーケーブルのもう一方の接続部を、キットのコネクターの 1 の位置に取り付ける。

REC (リア電気センター) のそばにブラケットがある車：手順 66 から作業を続行する。

REC (リア電気センター) のそばにブラケットが無い車：手順 51 から作業を続行する。

51 クリップナットを REC (リア電気センター) そばの四角い穴に取り付け、ブラケットをトランクルーム内に位置づける。

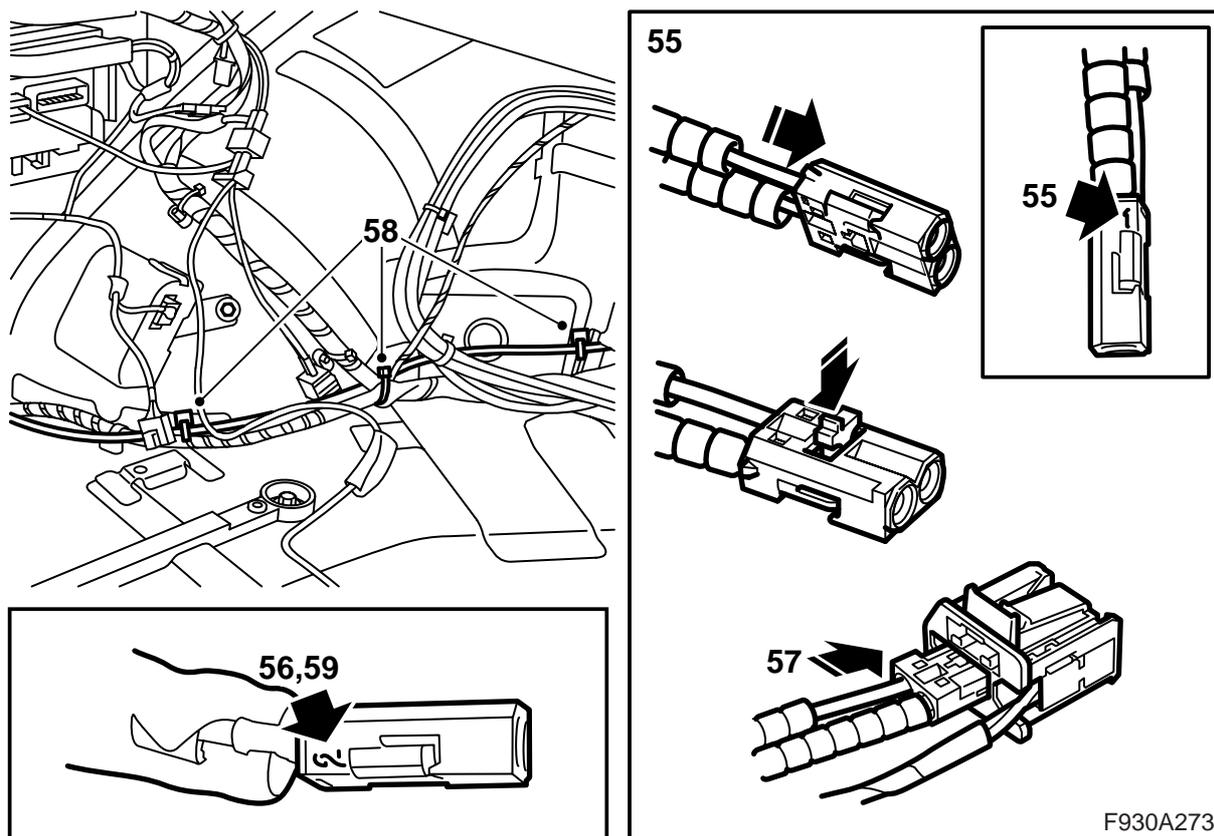
52 REC (リア電気センター) のそばにある、DVD プレーヤー用のコネクターを見つける。

53 キットのワイヤーハーネスをコネクターに接続する。

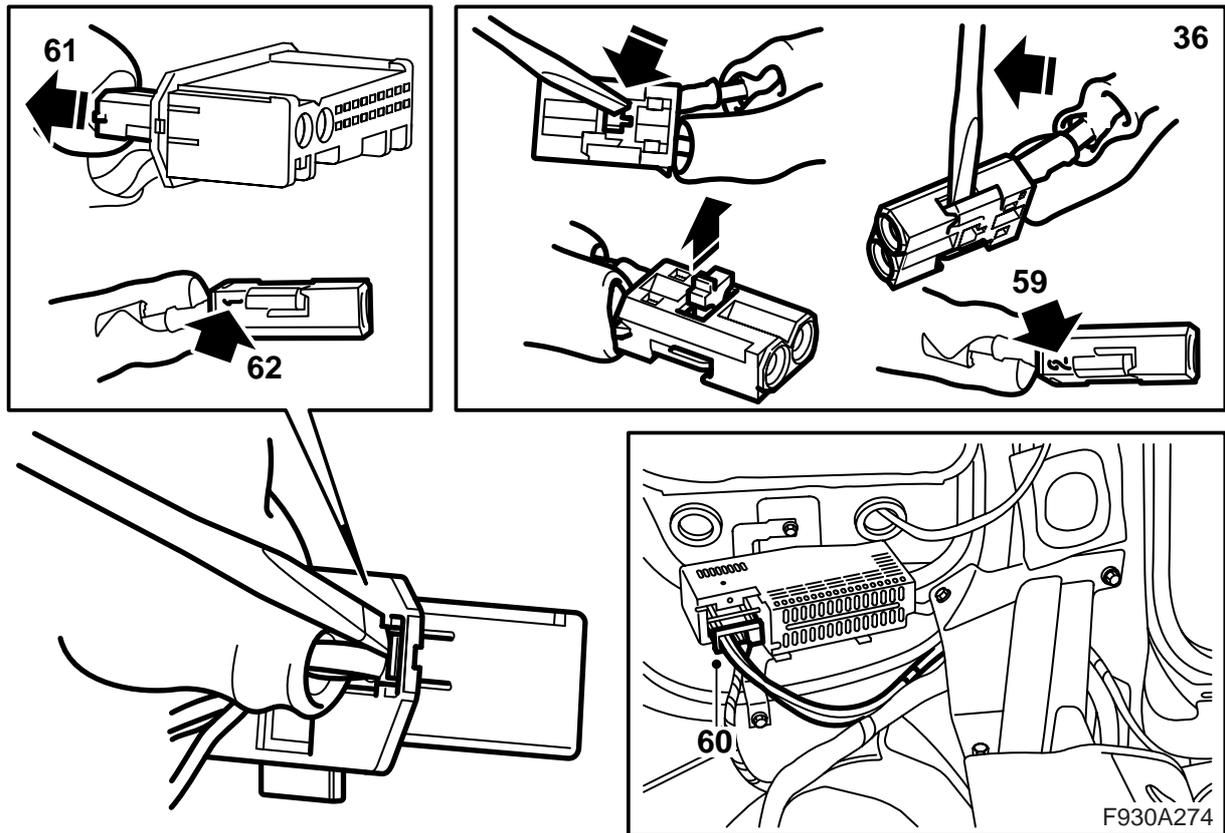
54 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーとトーションボックスの間、及び DVD プレーヤーとアンプの間) の片方の端の接続部から保護具を取り外す。

⚠ 警告

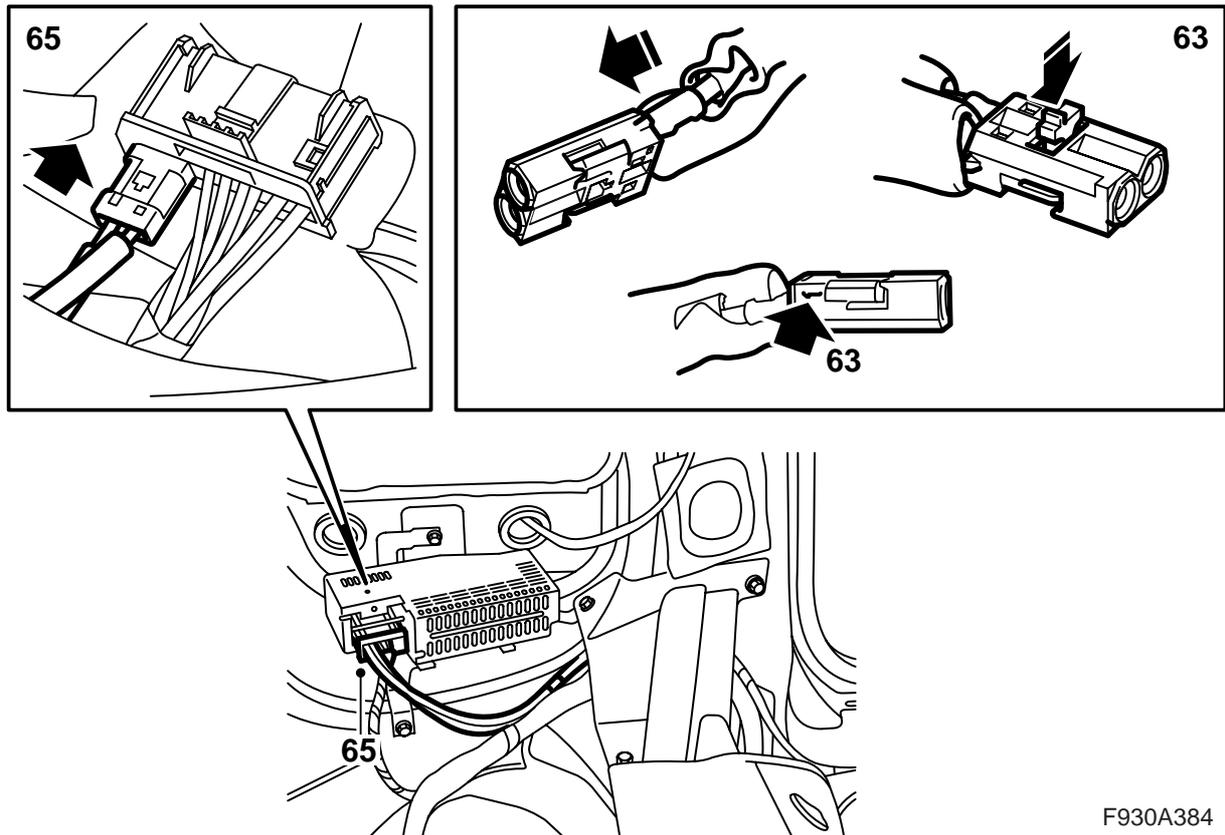
赤色可視光線は、レーザークラス 1 である。至近距離で光ファイバーまたは制御モジュールコネクターを覗き込んではいけません。目と光源の間の距離が 20 mm 未満であると、光線によって目を損傷する場合があります。



- 55 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーとトーションボックスの間) を、キットの小型コネクターの 1 の位置に取り付ける。
- 56 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーとアンプの間) を、キットの小型コネクターの 2 の位置に取り付ける。
- 57 小型コネクターを DVD プレーヤーのコネクターに取り付ける。
- 58 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーとトーションボックスの間及び DVD プレーヤーとアンプの間) を既存のワイヤーハーネスに沿って前方に配線し、ケーブルタイで固定する。後でさらにもう 2 本のケーブルもここに固定するので、ケーブルタイはまだ完全に引き締めないでおく。
- 59 ファイバーケーブル (DVD プレーヤーとトーションボックスの間) の接続部から保護具を取り外し、この接続部をトーションボックス内にある小型コネクターの 2 の位置に取り付ける。

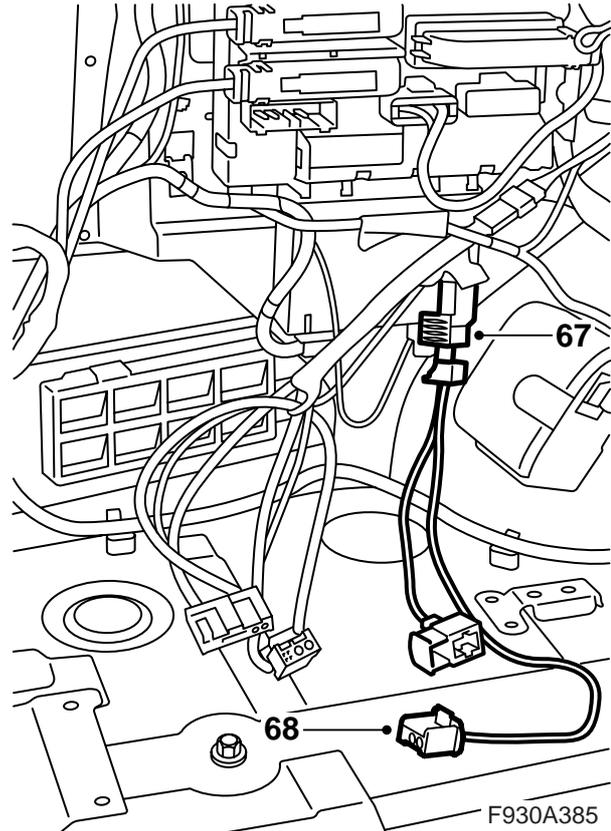
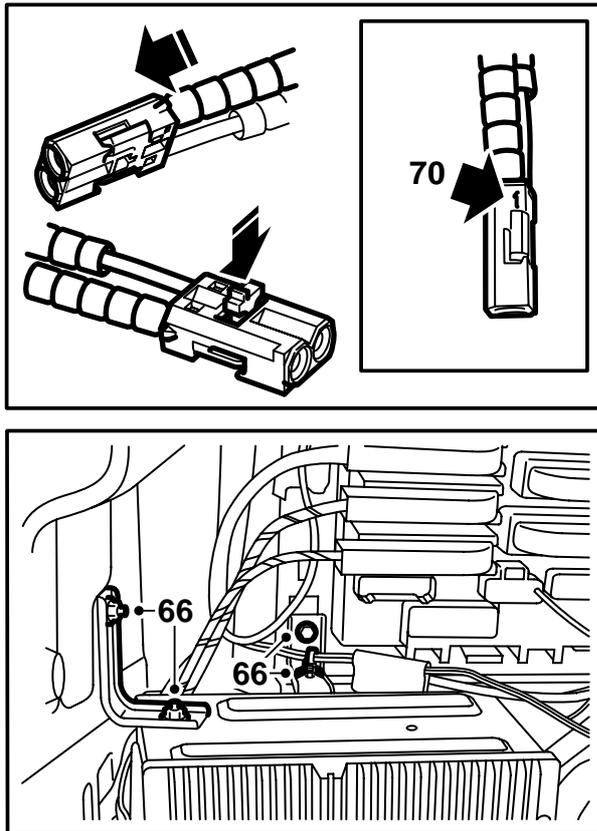


- 60 アンプからコネクタを取り外す。
- 61 大型コネクタから小型コネクタを取り外す。
- 62 1の位置に接続されているファイバケーブルを、コネクタのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。



- 63 ファイバーケーブル (DVD プレーヤーとアンプの間) の接続部から保護具を取り外し、この接続部をアンプの小型コネクタの 1 の位置に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。ファイバーケーブルをトーションボックスまでワイヤーハーネスに沿って固定する。
- 64 取り外したファイバーケーブルの接続部に保護具を取り付け、ファイバーケーブルを損傷しないよう注意深くどける。
- 65 大型コネクタに小型コネクタを取り付ける。大型コネクタをアンプに接続する。
手順 75 から作業を続行する。

F930A384

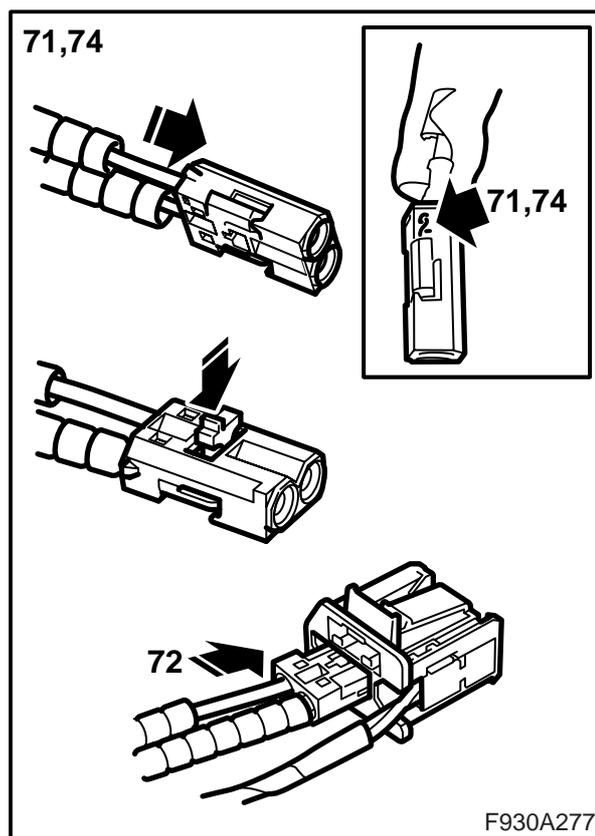
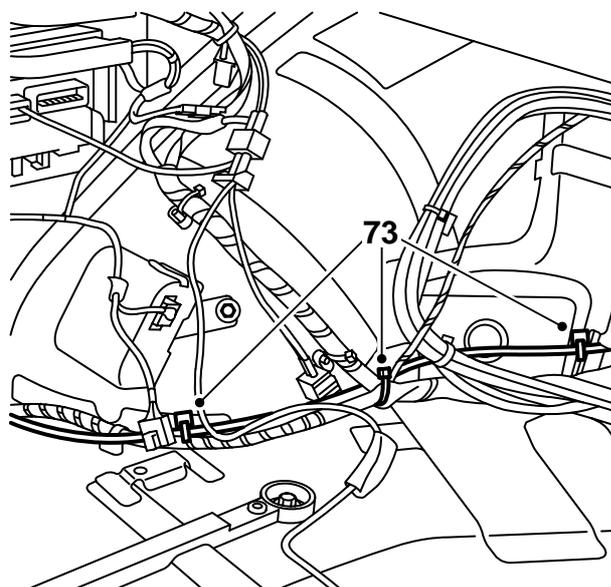


- 66 ブラケットを取り外し、これを取り出す（作業しやすくするため）。ワイヤーハーネスのケーブルタイを、ブラケットから外す。
- 67 REC（リアエレクトリカルセンター）のそばにある、DVDプレーヤー用のコネクタを見つける。
- 68 キットのワイヤーハーネスをコネクタに接続する。
- 69 キットのファイバーケーブル（DVDプレーヤーとトーションボックスの間）の片方の接続部から保護具を取り外す。

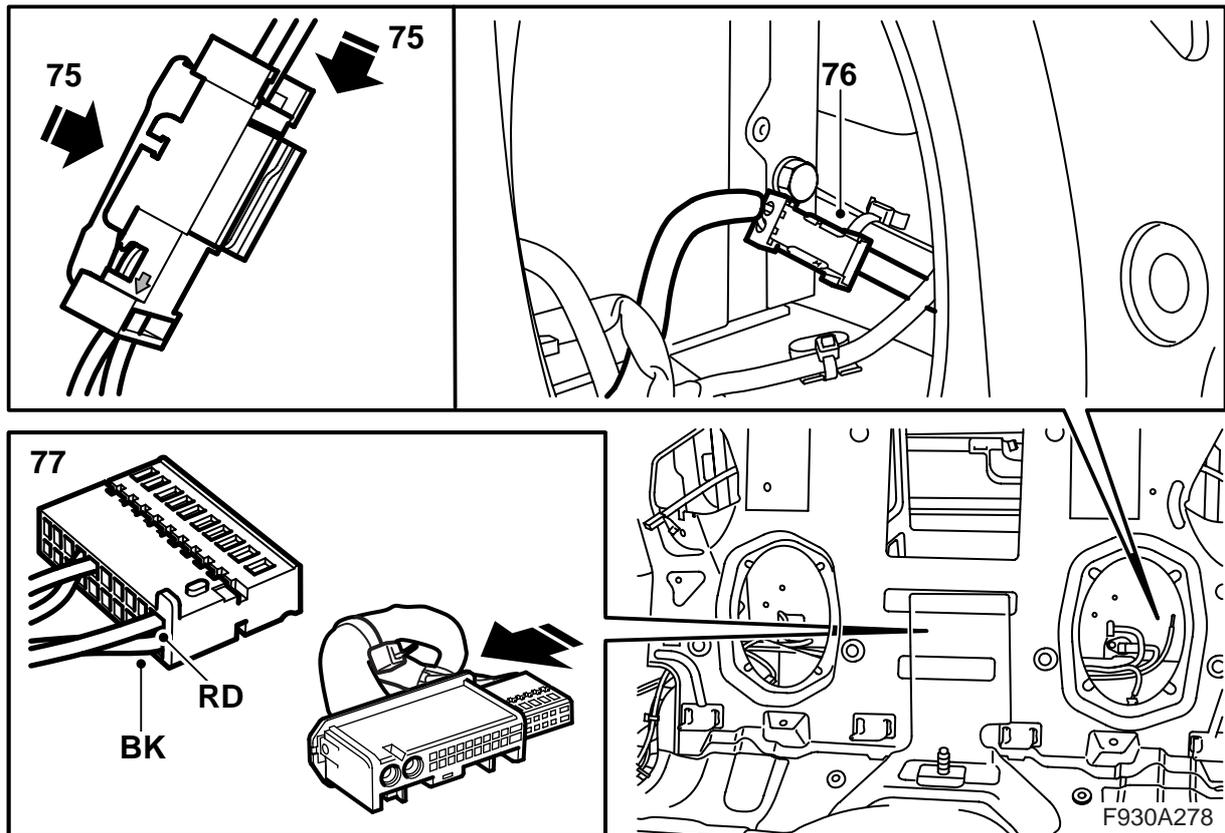
⚠ 警告

赤色可視光線は、レーザークラス1である。至近距離で光ファイバーまたは制御モジュールコネクタを覗き込んではいならない。目と光源の間の距離が20 mm未満であると、光線によって目を損傷する可能性がある。

- 70 キットのファイバーケーブル（DVDプレーヤーとトーションボックスの間）をキットのコネクタの1の位置に取り付ける。



- 71 キットのファイバーケーブル（コンソールのユニット間）の片方の接続部から保護具を取り外し、これをキットのコンネクターの 2 の位置に取り付ける。
- 72 小型コンネクターを DVD プレーヤーのコンネクターに取り付ける。
- 73 キットのファイバーケーブル（DVD プレーヤーとトーションボックスの間）を既存のワイヤーハーネスに沿って前方に配線し、ケーブルタイで固定する。後でさらにもう 2 本のケーブルもここに固定するので、ケーブルタイはまだ完全に引き締めておく。
- 74 ファイバーケーブル（DVD プレーヤーとトーションボックスの間）の接続部から保護具を取り外し、この接続部をトーションボックス内部にある小型コンネクターの 2 の位置に取り付ける。
手順 75 から作業を続行する。



75 キットのファイバーケーブル付きワイヤーハーネスをトーションボックス内に通す。A ピラー及び DVD プレーヤーから来ているファイバーケーブル付きの小型コネクタを分岐コネクタに取り付け、ロックプレートを取り付ける。

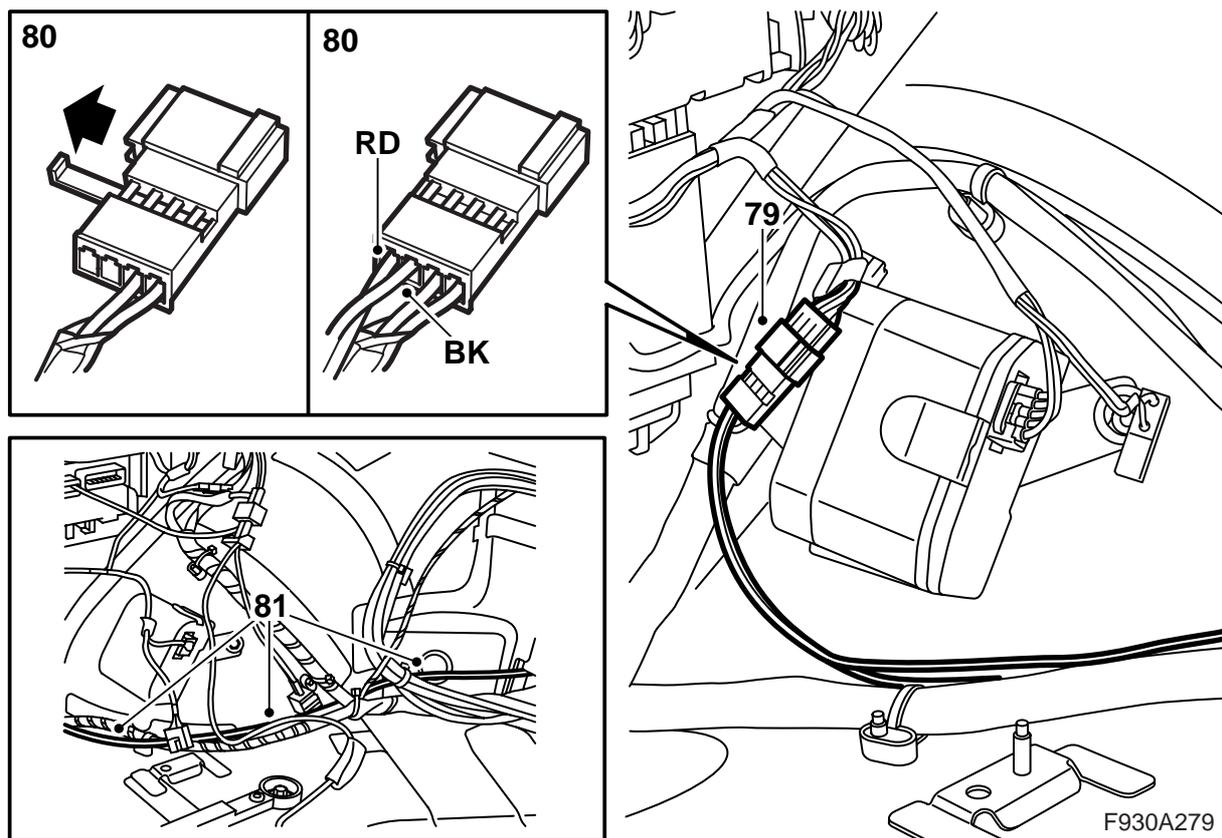
76 この分岐コネクタを、ワイヤーハーネスのそばでトーションボックス内に固定する。キットのワイヤーハーネスを既存のワイヤーハーネスに沿ってトーションボックス内まで配線し、これらをケーブルタイで固定する。

77 トーションボックス中央にあるテレマティークユニット用のコネクタを見つけ、キットのワイヤーハーネスからのケーブルを、以下のように取り付ける。

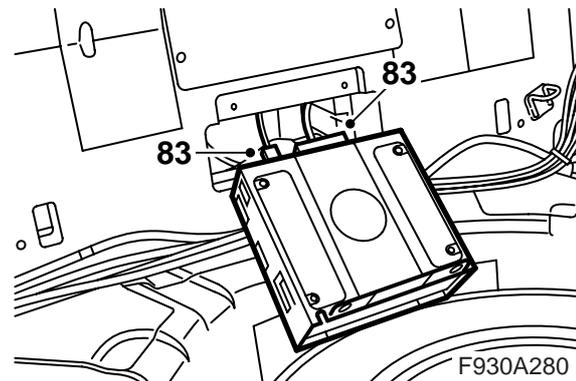
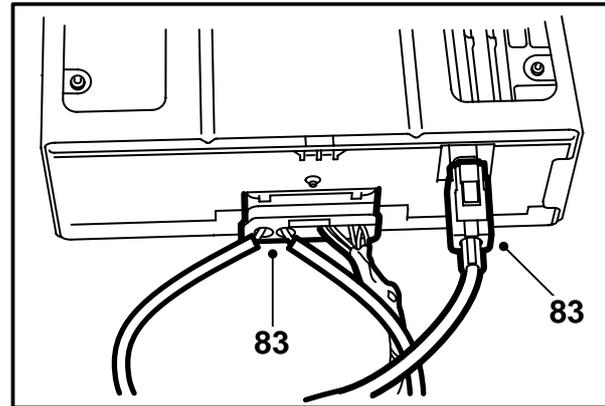
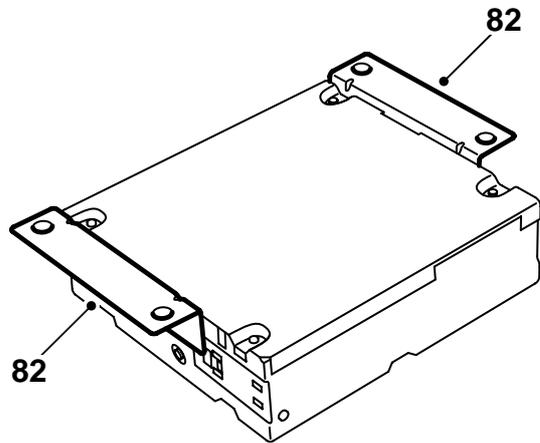
赤 (RD) ケーブル (+) を 10 の位置に

黒 (BK) ケーブル (-) を 20 の位置に

テレマティークユニット用のコネクタをキットのワイヤーハーネス内の大型コネクタに取り付ける。



- 78 キットのワイヤーハーネスの固定されていない端部を、以前取り付けしたケーブルタイに通し、既に取り付け済みのファイバーケーブル (DVD プレーヤーとトーションボックスの間) に沿わせて後方へ、ワイヤーハーネスの REC (リア電気カルセンター) への分岐点まで配線する。ケーブルタイを引き締める。
- 79 テレマティークユニットの電源用分岐コネクタをワイヤーハーネス付近に固定しているテープを取り去り、分岐コネクタを分離する。
- 80 ロックリップを取り外し、キットのワイヤーハーネスを以下のようにコネクタ内に取り付ける。
赤 (RD) ケーブル (+) を 1 の位置に
黒 (BK) ケーブル (-) を 2 の位置に
- 81 ロックリップを取り付け、分岐コネクタを接続し、これをワイヤーハーネス付近で REC (リア電気カルセンター) に固定する。



82 キットに入っているテレマティークユニットを取り出す。テレマティークユニットにキャッチがある場合はこれを取り外す。

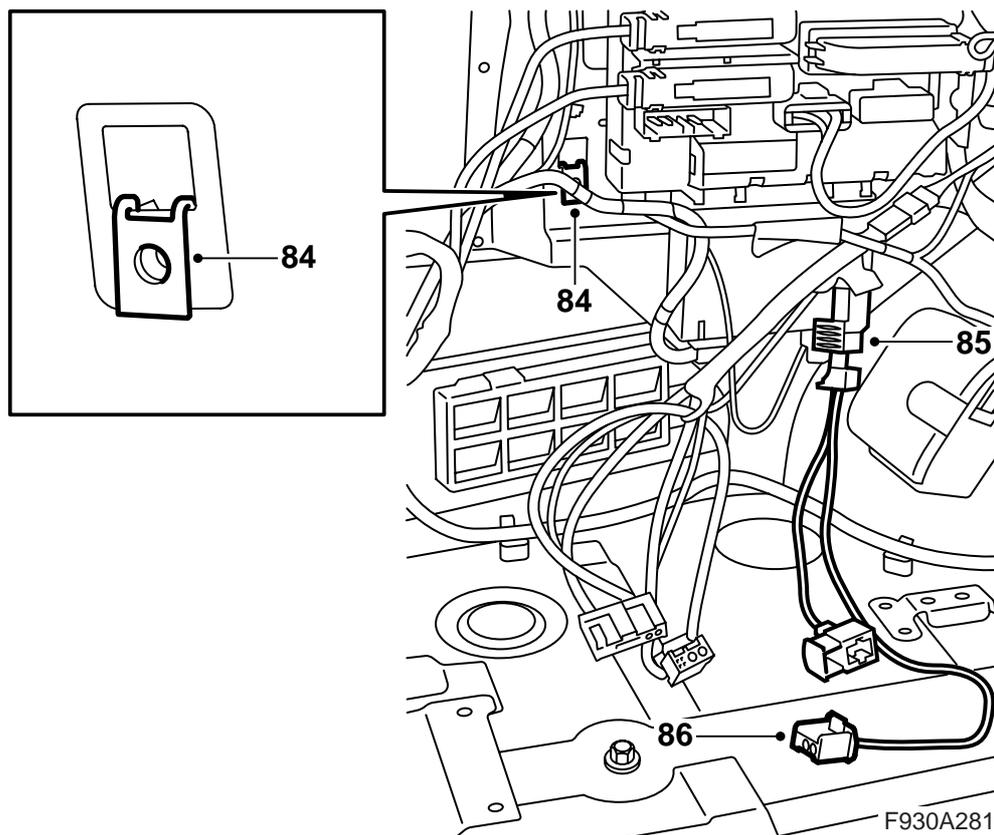
83 キットのテレマティークユニットをブラケット内に取り付ける（カチリという音が聞こえるはずである）。コネクタを、テレマティークユニットへの青いコネクタで、細いアンテナケーブルと接続する。紫色のコネクタをワイヤーハーネスのところで太いアンテナケーブルに固定する（接続しない場合）。

手順 101 から作業を続行する。

重要事項

信号に歪みが出ないように、光ファイバーケーブルは注意深く取り扱うこと。

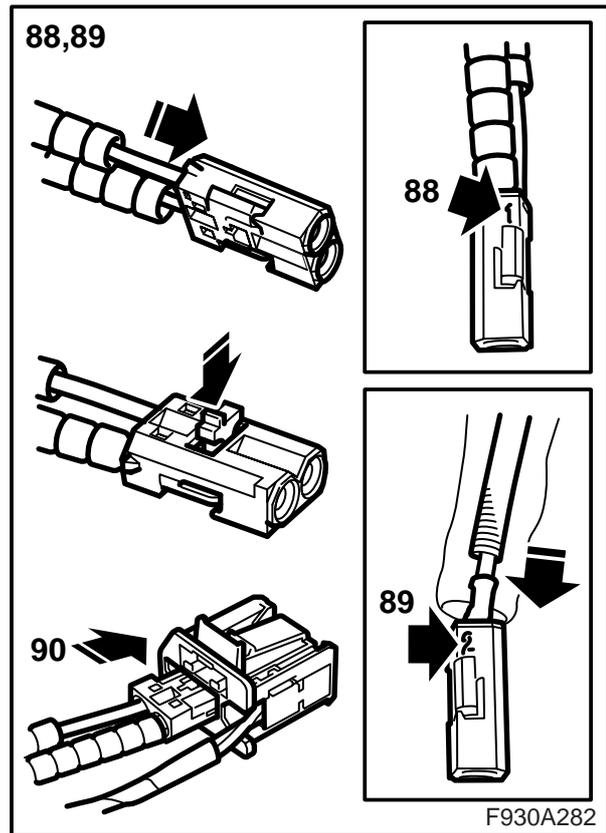
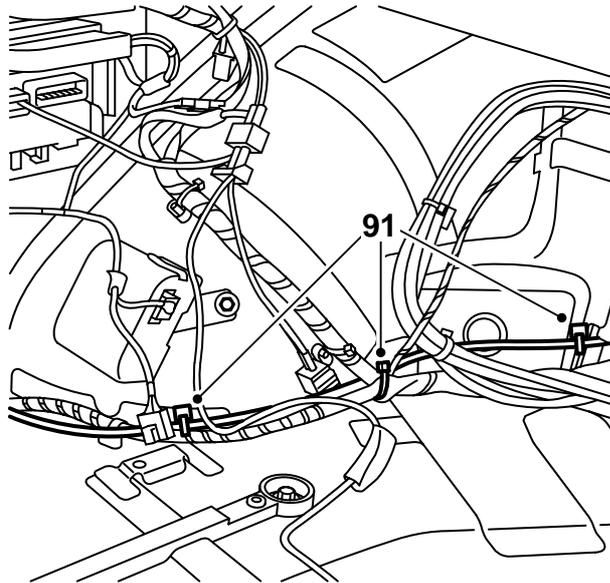
- コネクタ内の2本のケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



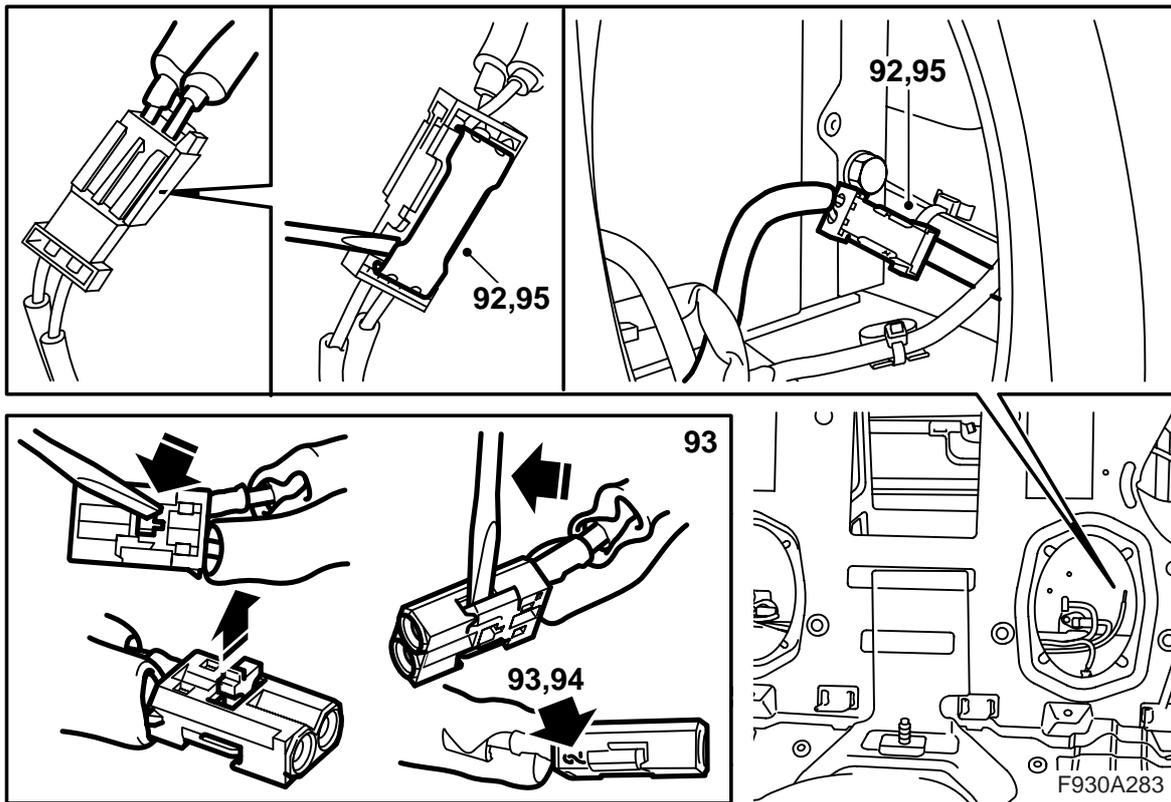
- 84 バッテリーのマイナスケーブルを取り外す。クリップナットを REC (リアエレクトリカルセンター) そばの四角い穴に取り付け、ブラケットをトランクルーム内に位置づける。
- 85 REC (リアエレクトリカルセンター) のそばにある、DVD プレーヤー用のコネクタを見つける。
- 86 キットのワイヤーハーネスをコネクタに接続する。
- 87 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーとトーションボックスの間、及び DVD プレーヤーとアンプの間) の片方の端の接続部から保護具を取り外す。

 **警告**

赤色可視光線は、レーザークラス 1 である。至近距離で光ファイバーまたは制御モジュールコネクタを覗き込んではいならない。目と光源の間の距離が 20 mm 未満であると、光線によって目を損傷する可能性がある。



- 88 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーと
トーションボックスの間) をキットのコンネクター
の 1 の位置に取り付ける。
- 89 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーと
アンプの間) を、キットのコンネクターの 2 の位置
に取り付ける。
- 90 小型コンネクターを DVD プレーヤーのコンネクターに
取り付ける。
- 91 キットのファイバーケーブル (DVD プレーヤーと
トーションボックスの間及び DVD プレーヤーとア
ンプの間) を既存のワイヤーハーネスに沿って前
方に配線し、ケーブルタイで固定する。



92 トーションボックス内の分岐コネクタを取り外す。分岐コネクタのロックプレートを持ち上げて、小型コネクタを取り外す。

94 ファイバーケーブルの接続部 (DVD プレーヤーとトーションボックスの間) から保護具を取り外し、この接続部を2の位置に取り付ける。取り外したファイバーケーブルには保護具を取り付ける。

95 分岐コネクタ内に小型コネクタを取り付ける。ロックプレートを取り付けてから、この分岐コネクタをトーションボックス内に取り付ける。

⚠ 警告

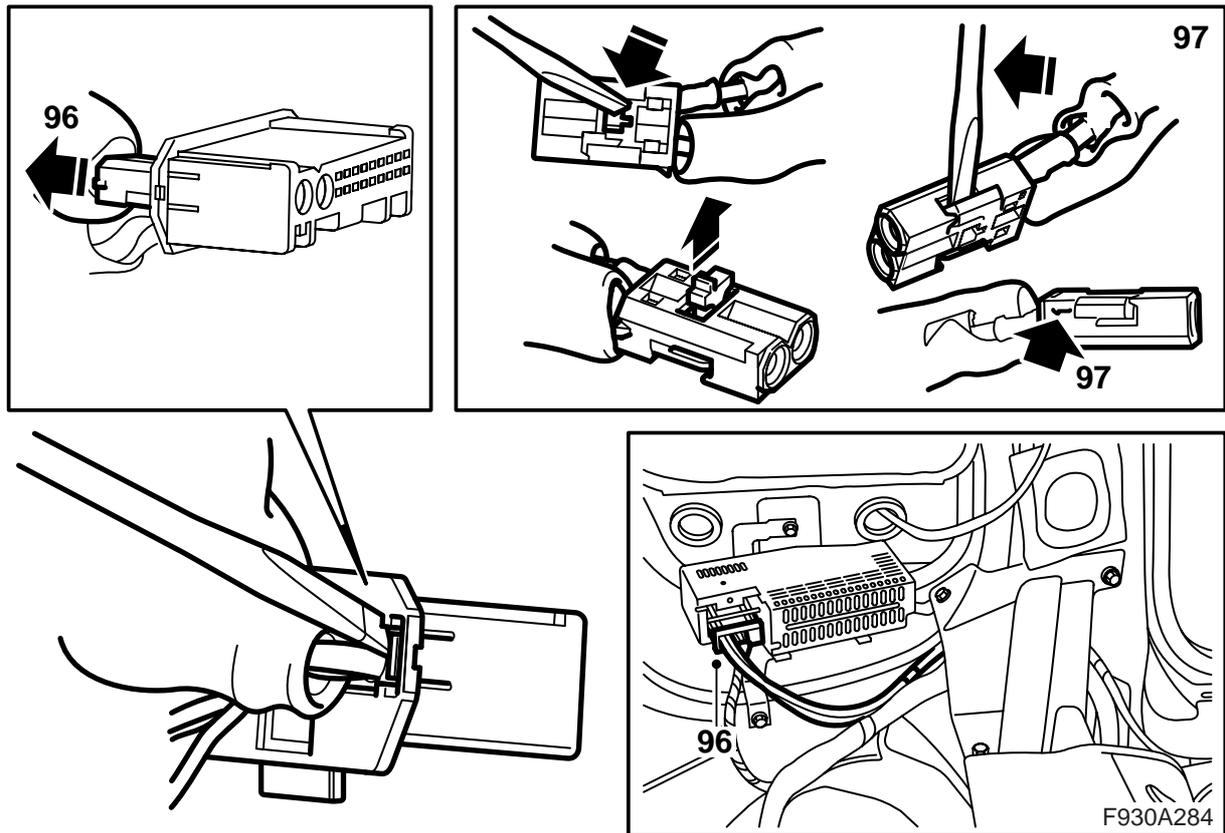
赤色可視光線は、レーザークラス1である。至近距離で光ファイバーまたは制御モジュールコネクタを覗き込んではいならない。目と光源の間の距離が20 mm 未満であると、光線によって目を損傷する可能性がある。

93 2の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクタのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。

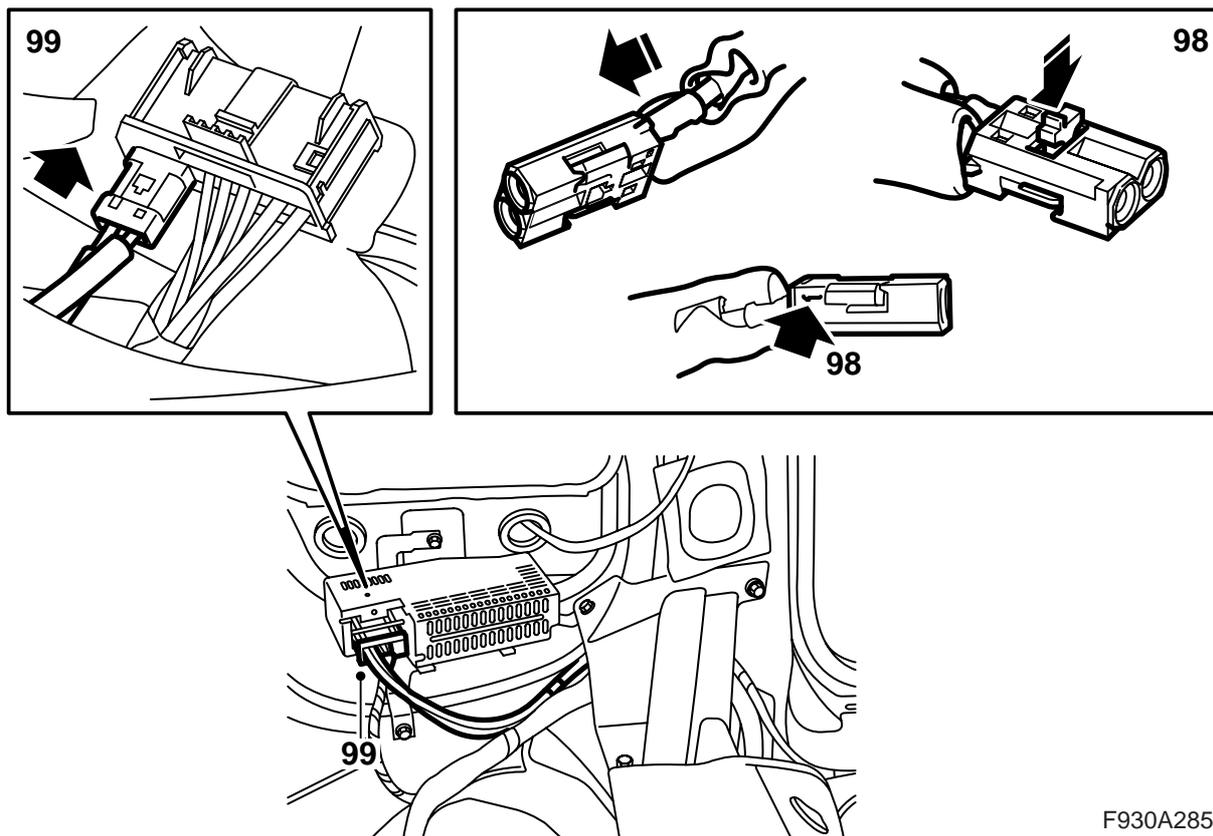
重要事項

信号に歪みが出ないように、光ファイバーケーブルは注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の2本のケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



- 96 アンプからコネクタを取り外し、小型コネクタをアンプのコネクタから取り外す。
- 97 取り外したコネクタの 1 の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクタのロックリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。

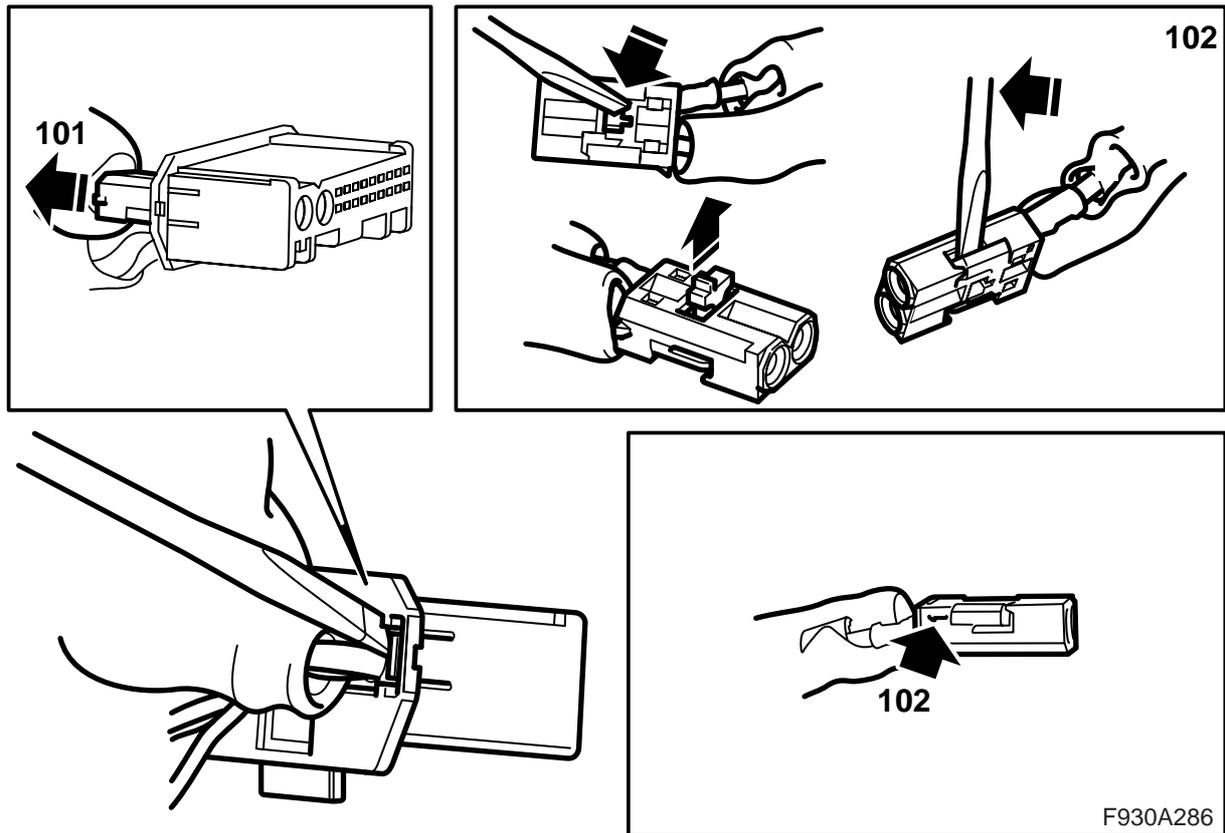


98 ファイバーケーブル (DVD プレーヤーとアンプの間) の接続部から保護具を取り外し、この接続部を取り外したコネクタの 1 の位置に取り付ける。取り外したファイバーケーブルには保護具を取り付ける。ファイバーケーブルを、トーションボックスに届くまでケーブルタイで固定する。

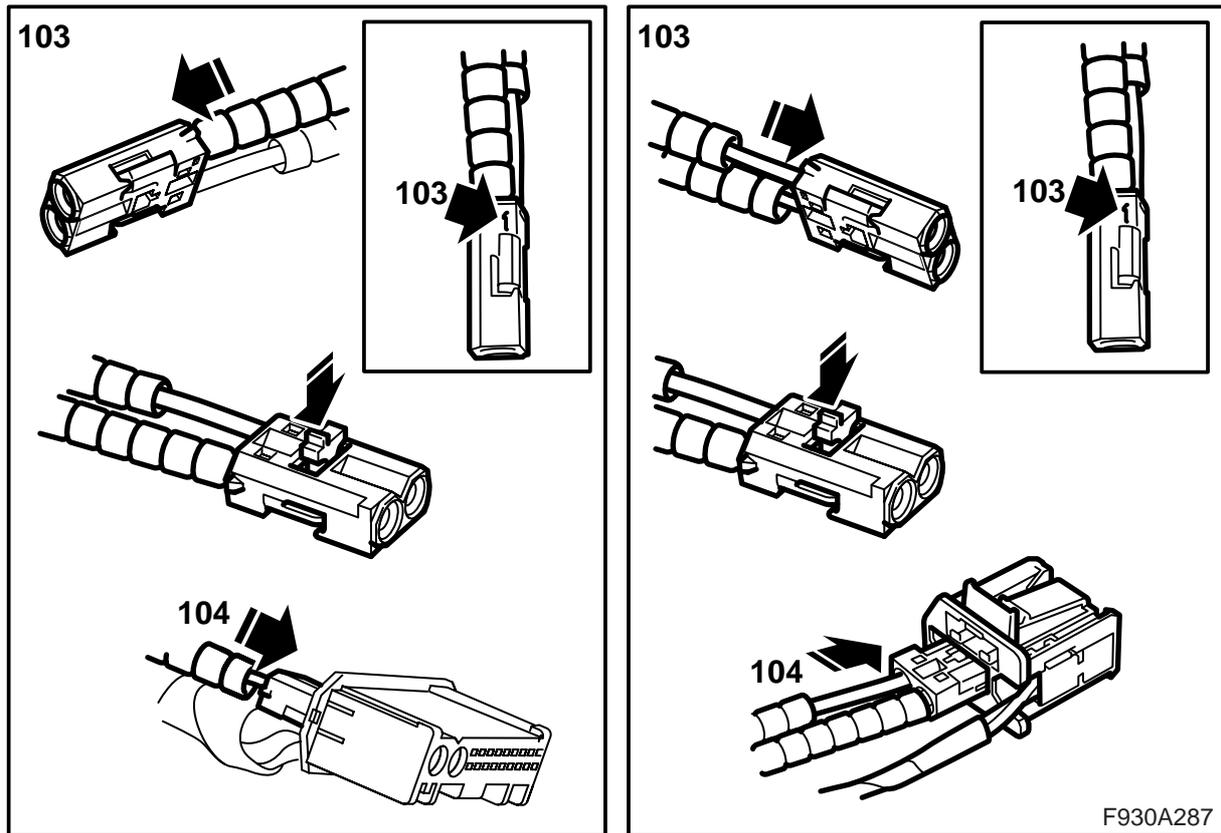
99 小型コネクタを大型コネクタに取り付け、このコネクタをアンプに接続する。

100 手順 117 から作業を続行する。

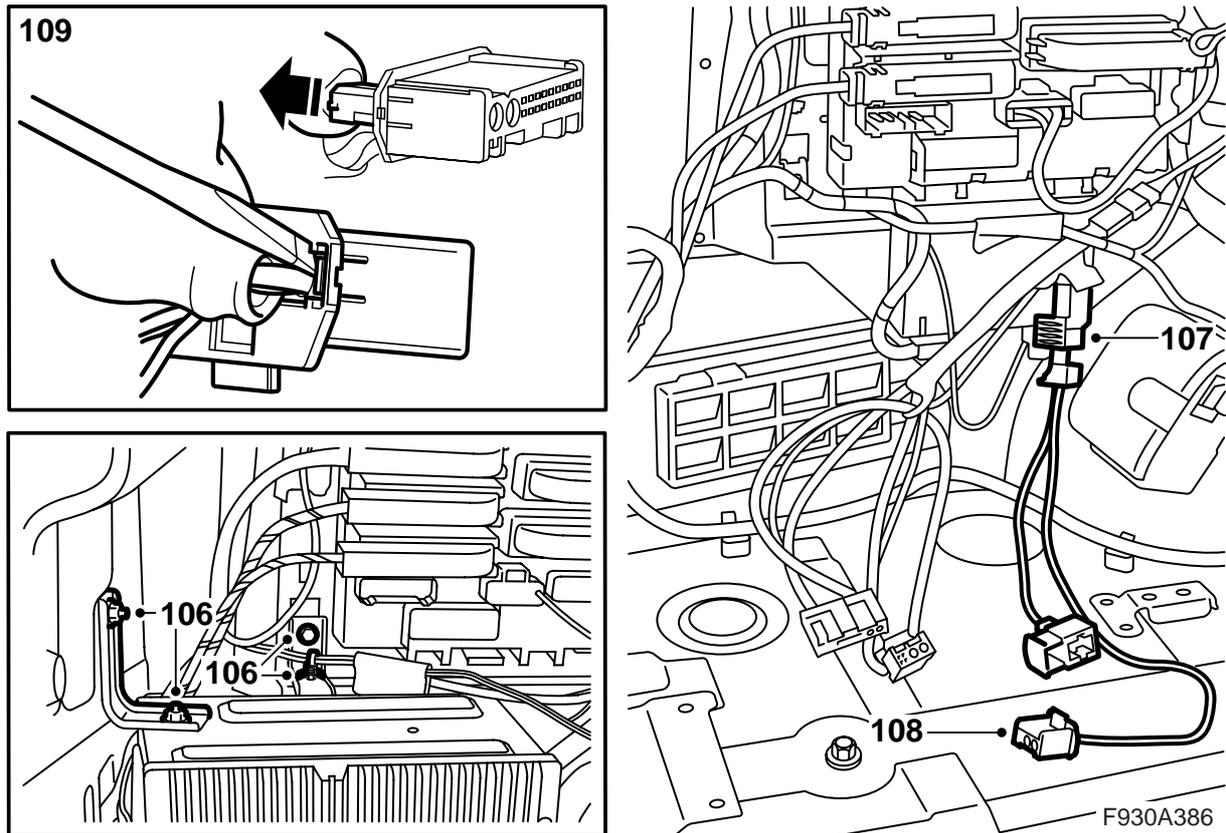
F930A285



- 101 **REC (リア電気センター) のそばにブラケットが無い車**：手順 117 から作業を続行する。
REC (リア電気センター) のそばにブラケットがあり、アンプまたは CD プレーヤーが取り付けられている車：アンプまたは CD プレーヤーのコンネクターを取り外し、小型コンネクターを大型コンネクターから取り外す。
REC (リア電気センター) のそばにブラケットがあり、アンプ及び CD チェンジャーが取り付けられている車：CD チェンジャーのコンネクターを取り外し、小型コンネクターを大型コンネクターから取り外す。
- 102 **アンプ及び/または CD チェンジャーが取り付けられている車**：取り外したコンネクターの 1 の位置に接続されているファイバーケーブルを、コンネクターのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。ファイバーケーブルを損傷しないよう注意深くどける。



- 103 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** 以前取り付けしたファイバーケーブル (ブラケット内のユニット間) のもう片方の接続部から保護具を取り外す。この接続部を、小型コネクタの1の位置に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。取り外したファイバーケーブルに保護具を取り付ける。
- 104 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** 小型コネクタをアンプまたはCDチェンジャーのコネクタに取り付ける。
- 105 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** アンプまたはCDチェンジャーのコネクタを接続する。
手順 117 から作業を続行する。



106 バッテリーのマイナスケーブルを取り外す。ブラケットを取り外し、作業しやすいようにこれは車から取り出しておく。ブラケットから、ワイヤーハーネスのケーブルタイを取り外す。

107 REC（リアエレクトリカルセンター）のそばにある、DVDプレーヤー用のコネクターを見つける。

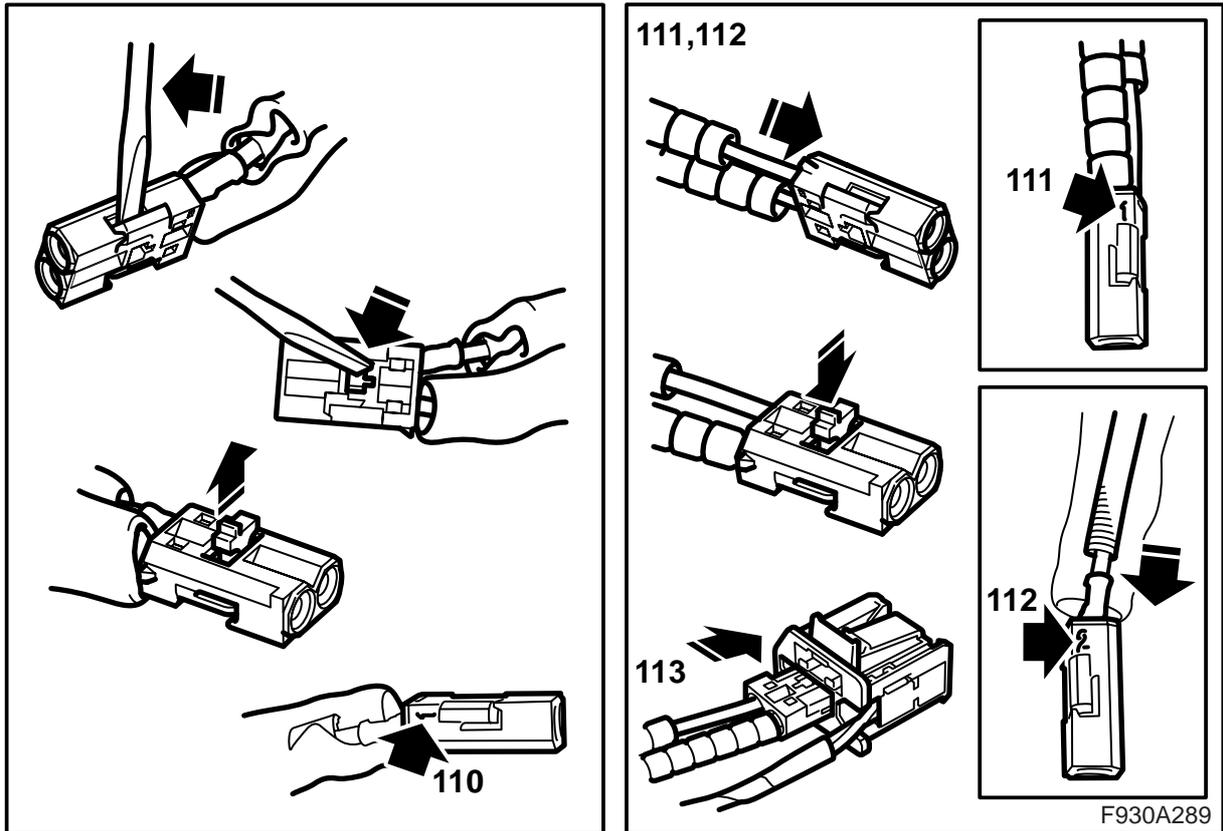
108 キットのワイヤーハーネスをコネクターに接続する。

109 **アンプまたはCDチェンジャーが取り付けられている車：**アンプまたはCDチェンジャーのコネクターを取り外し、小型コネクターを大型コネクターから取り外す。

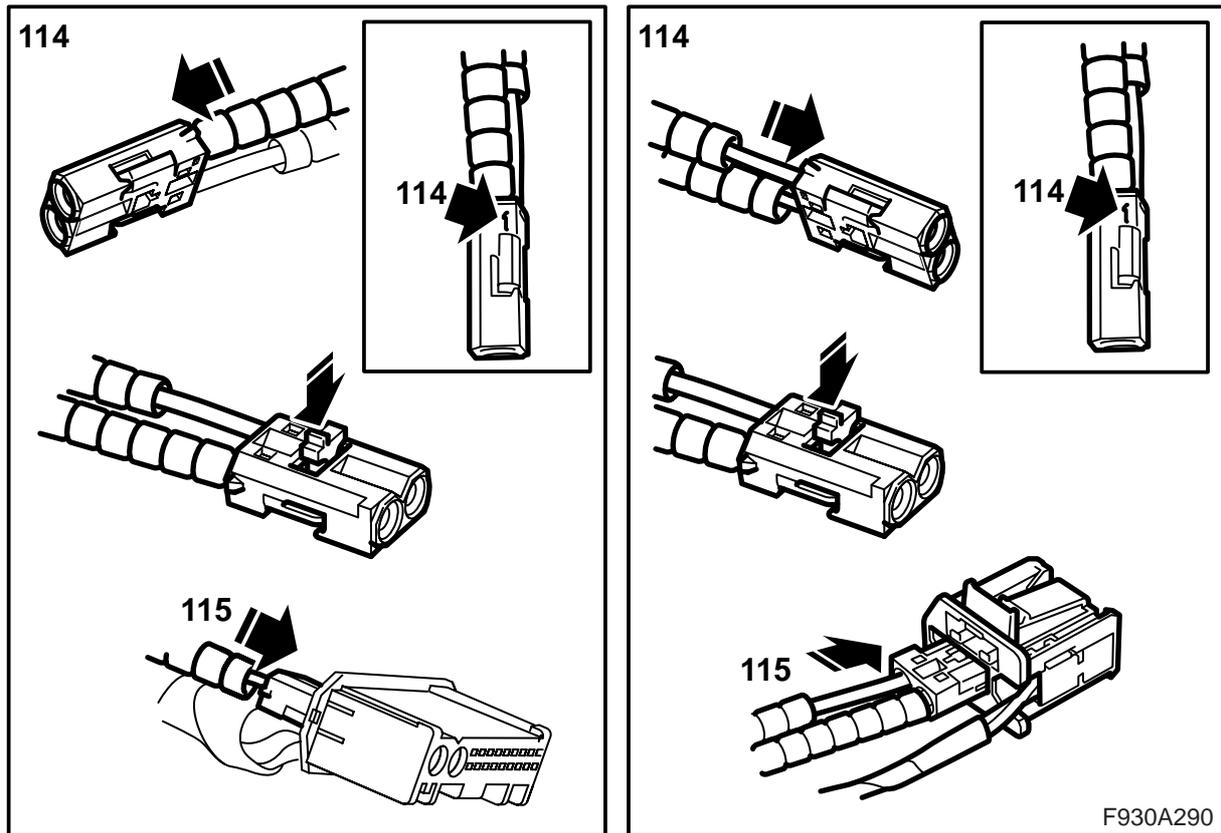
アンプ及びCDチェンジャーが取り付けられている車：CDチェンジャーのコネクターを取り外し、小型コネクターを大型コネクターから取り外す。

⚠ 警告

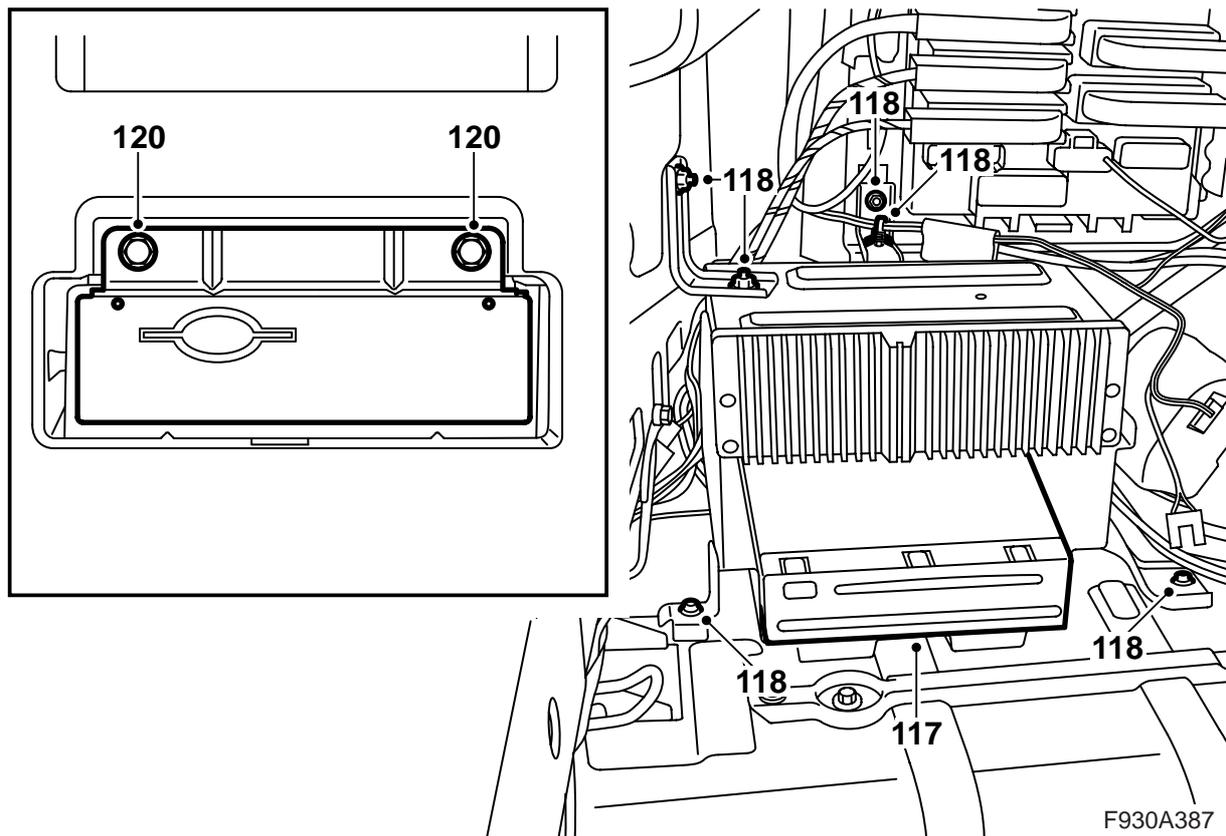
赤色可視光線は、レーザークラス1である。至近距離で光ファイバーまたは制御モジュールコネクターを覗き込んではいならない。目と光源の間の距離が20 mm未満であると、光線によって目を損傷する可能性がある。



- 110 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** 取り外したコネクターの1の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクターのロッククリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げる。
- 111 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** ファイバーケーブルの接続部を、キットのコネクターの1の位置に取り付ける。
- 112 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** キットのファイバーケーブル (ブラケット内のユニット間) の接続部から保護具を取り外す。この接続部を、キットのコネクターの2の位置に取り付ける。
- 113 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車:** 小型コネクターをDVDプレーヤーのコネクターに取り付ける。



- 114 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車**: キットのファイバーケーブル（ブラケット内のユニット間）の接続部から保護具を取り外す。この接続部を、アンプまたはCDチェンジャーの小型コネクタの1の位置に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。
- 115 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車**: 小型コネクタを、アンプまたはCDチェンジャーのコネクタに取り付ける。
- 116 **アンプ及び/またはCDチェンジャーが取り付けられている車**: アンプまたはCDチェンジャーのコネクタを接続する。
手順 117 から作業を続行する。



117 DVDプレーヤーをブラケットに取り付ける。カチッという音が聞こえるはずである。それから DVD プレーヤーを接続し、ブラケットをはめ入れる。

120 テレマティークユニット用のブラケットをトーションボックス内の正しい位置に置き、取り付ける。

重要事項

信号に歪みが出ないように、光ファイバーケーブルは注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

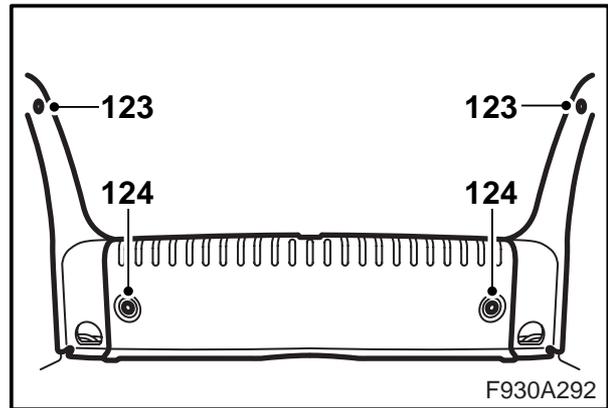
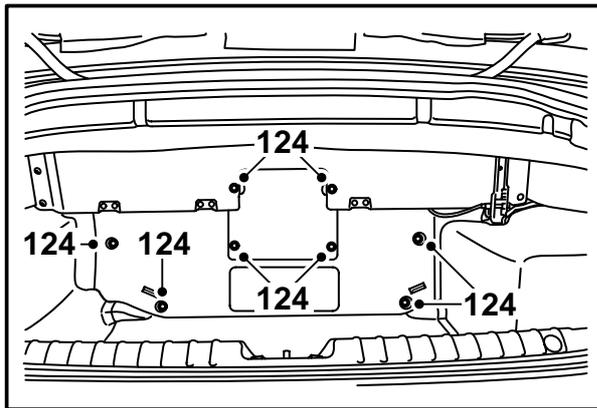
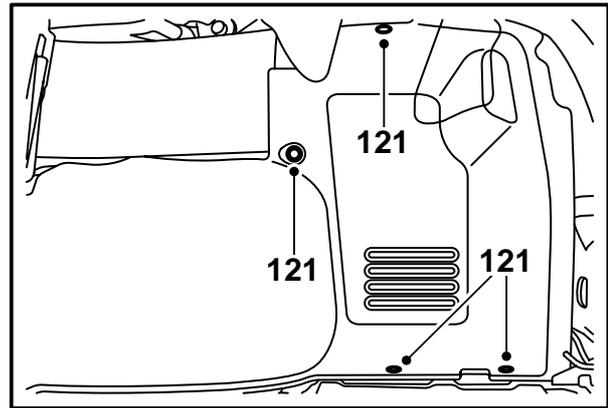
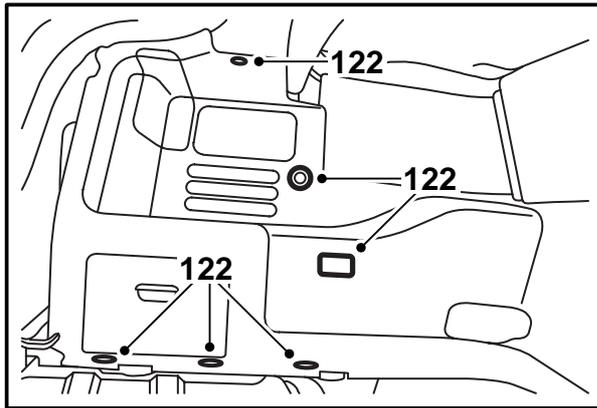
118 ブラケットを取り付ける。ブラケット上面のナットも締め付ける。ワイヤーハーネスのケーブルルタイをブラケットの穴に固定する。

119 キットのワイヤーハーネスを車のワイヤーハーネスに固定する。

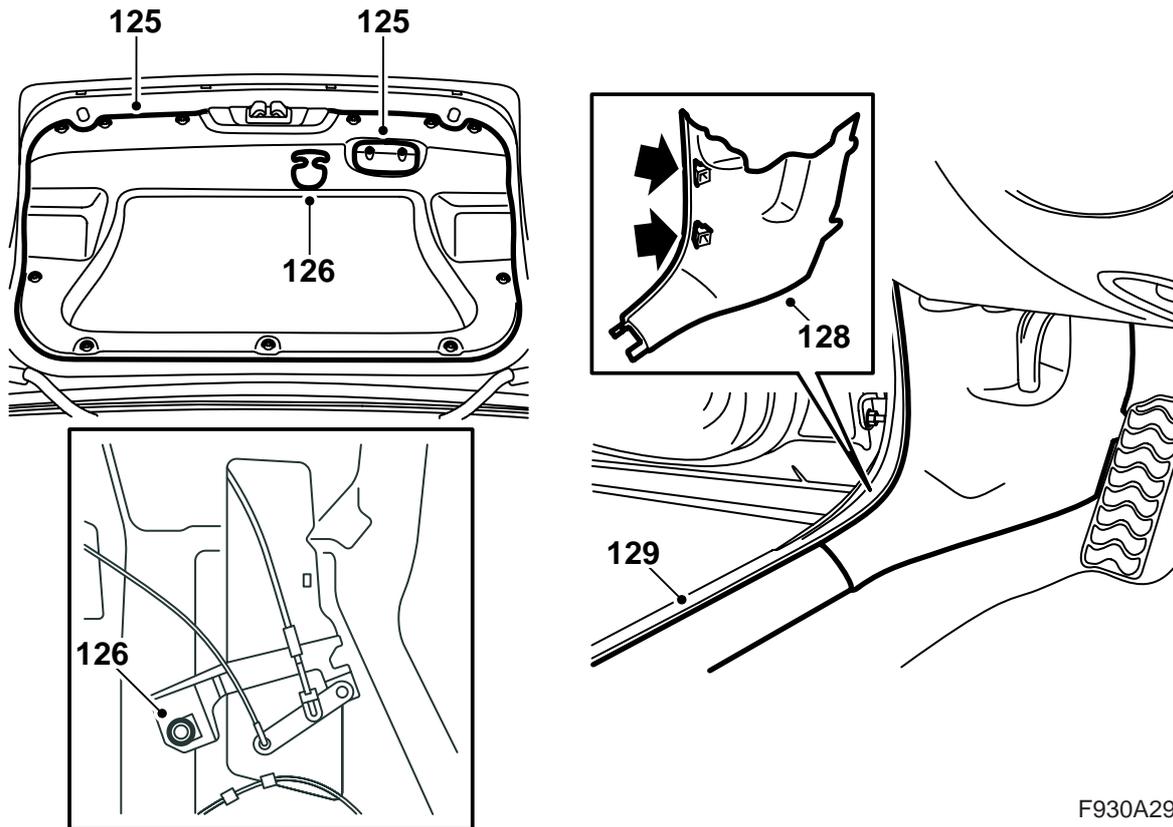
重要事項

信号に歪みが出ないように、光ファイバーケーブルは注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

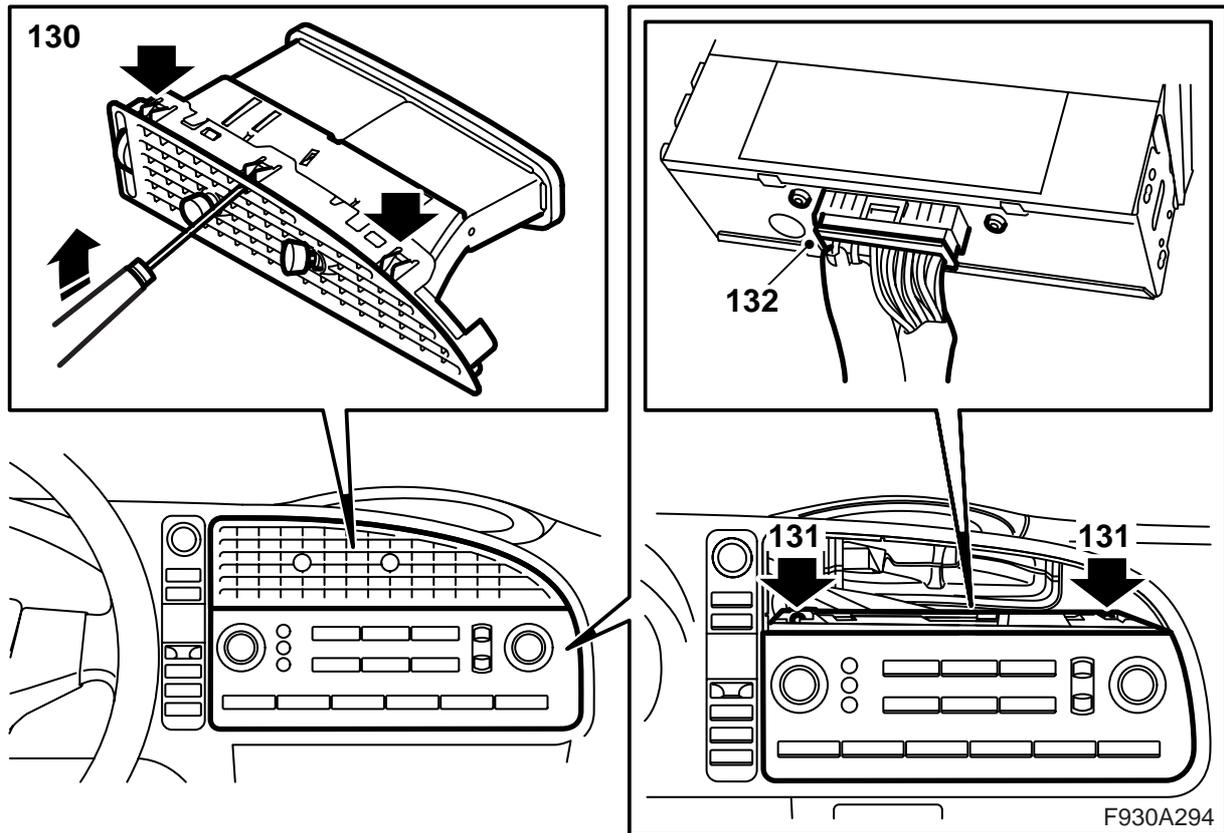


- 121 トランクルームの右側のサイドトリムが取り外されている場合：右側のサイドトリムを正しい位置に置き、ストラップをフックにかけて留める。クリップを取り付ける。
- 122 左側サイドトリムをはめ合わせ、トランクルームライトを接続し、ストラップのフックをかける。クリップを取り付ける。
- 123 サイドスキャッププレートが取り外されている場合には、取り付ける。
- 124 トランクルームトリムのフロント部分、サイドスキャッププレートを取り付ける。トランクルームのフロアにマットを敷く。



F930A293

- 125 **トランクリッドトリムが取り外されている US 車:**
非常時開放用のメカニズムを取り付ける。
- 126 **トランクリッドトリムが取り外されている場合:**
トランクリッド内側のトリムを取り付け、クリップを取り付け、トランクリッドのクローズハンドルを取り付ける。
トランクリッドトリムが取り外されている US 車:
非常用ハンドルを取り付ける。
- 127 **トランクリッドが取り外されている場合:** トランクリッドを閉じる。
- 128 **テレマティークユニットがトーションボックス中央に取り付けられていなかった車:** A ピラートリムを取り付ける。
- 129 **テレマティークユニットがトーションボックス中央に取り付けられていなかった車:** スカッフプレートを取り付ける。



130 インストルメントパネル中央の空気吹き出し口を、キャッチ（グリルを通して手が届く）を注意深く曲げ入れて、取り外す。

注記

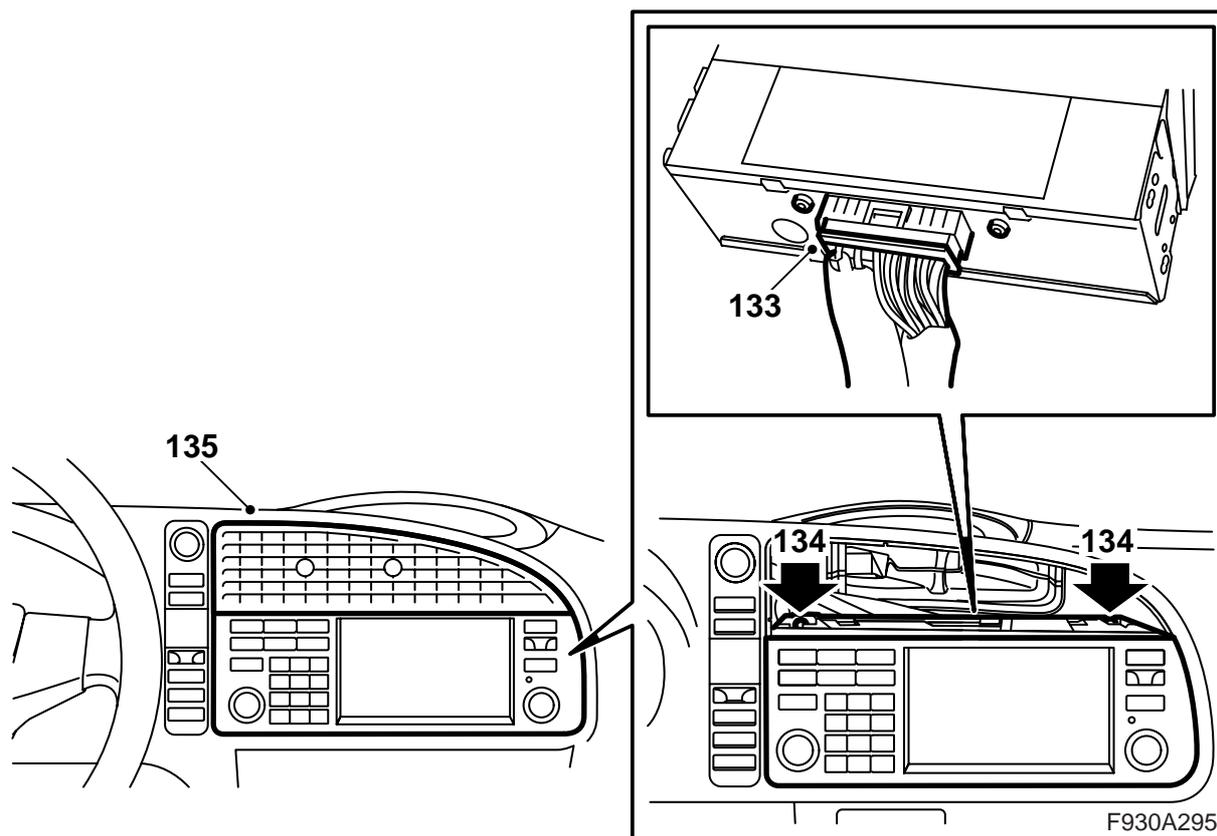
正しいキャッチを内側に曲げることが重要である。各空気吹出口を連結している各キャッチもグリルから見える。

131 インフォティメントシステムの操作パネル用の固定ボルトを取り外す。

132 操作パネルを取り外し、コネクタを外す。

⚠ 警告

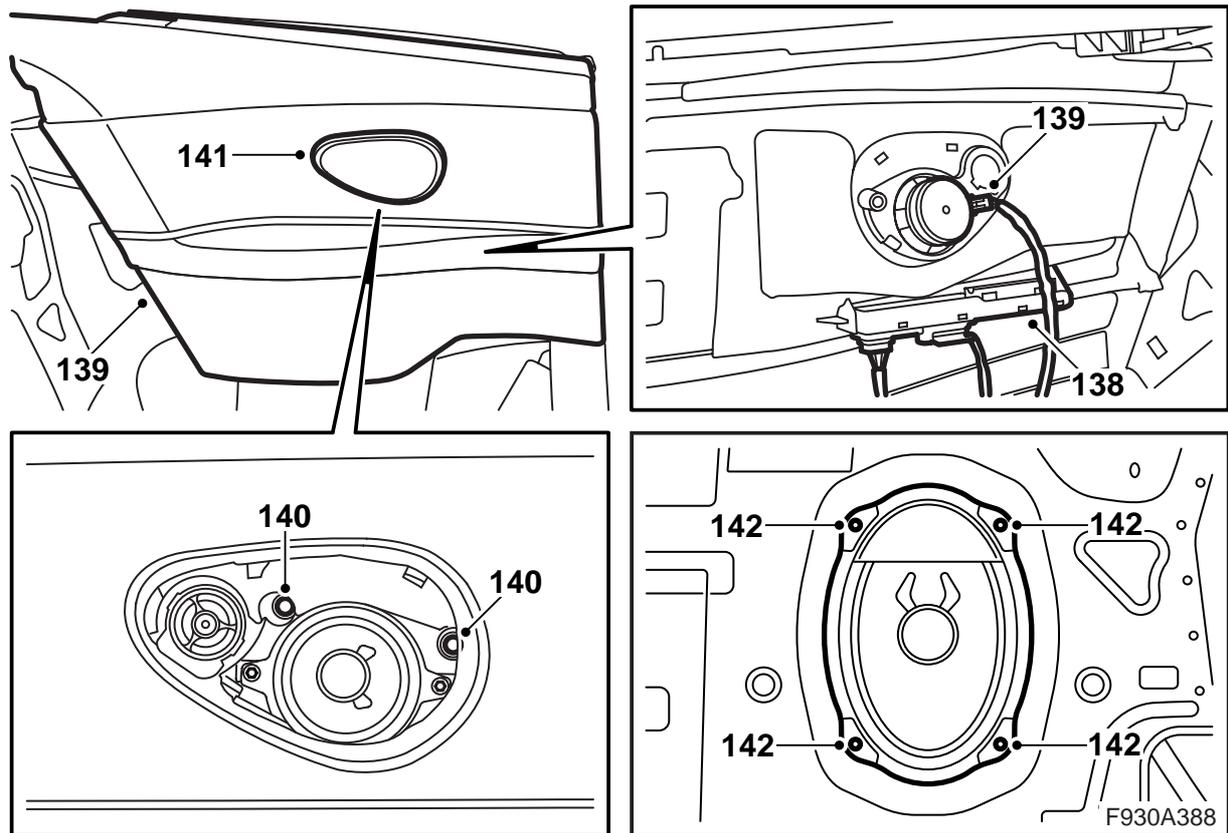
赤い可視光線はレーザークラス1である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。



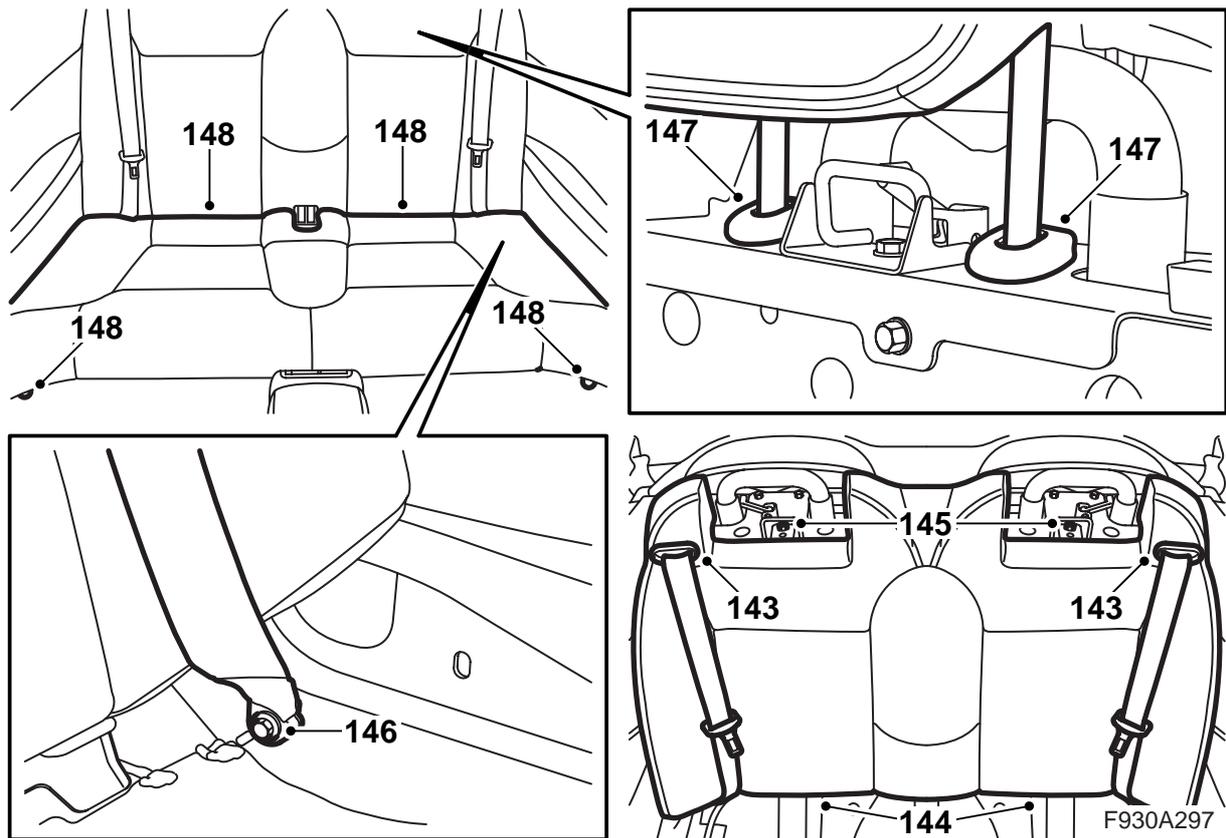
133 コネクターを、キットの操作パネルに接続する。

134 操作パネルを取り付ける。

135 空気吹き出し口をはめ合わせ、取り付ける。



- 136 バッテリーのマイナスケールを接続する。
- 137 ソフトトップを完全に下げるが、ソフトトップカバーは開いた状態としておく。
- 138 防湿材が完全であるか点検し、必要に応じて交換する。サイドトリム内に制御モジュールを取り付ける。
- 139 スピーカーのコンネクターを接続し、サイドトリムをはめ合わせ、これを下向きに押す。ゴム製の保護材が正しい位置になることを確認する。
- 140 サイドトリムを固定するネジを取り付け、ドア開口部のシーリングのインナーリップがサイドトリム前端にかかるように曲げる。ソフトトップカバーのシーリング上のブラケットをサイドトリム上にのせる。
- 141 スピーカーグリルを取り付ける。
- 142 低音スピーカーまたはカバーを取り付ける。



- 143 リアのシートベルトをベルトガイドに通し、このガイドをバックレストに押し入れて取り付ける。
- 144 バックレストを上側からはめ合わせ、下側で押し込んで固定する。
- 145 バックレストの上側固定部の2個のネジを取り付ける。
- 146 シートベルトの下側アンカーポイントのネジを取り付ける。

締め付けトルク：45 Nm (33 lbf ft)

- 147 リアのヘッドレストをそれぞれの取り付け部に差し込んで取り付ける。
- 148 シートクッションをはめ合わせ、シートクッション前端のネジを取り付ける。
- 149 ソフトトップを完全に上げる。
- 150 日付と時刻を調整する。
- 151 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。

重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。

- 152 サイドウインドーを2回上下させることで、パワーウインドーの挟み込み防止機能を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。
- 153 **左側フロントシートがパワーシートになっている車**：シート位置が変更された場合は、元に戻す。

- 154 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択し、アクセサリーを選択し、「追加」を選択する。

注記

診断ツールは、場合によってはTISセーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

- 155 地図ディスクをDVDプレーヤーに入れる。ナビゲーションシステムが通信衛星と交信するまで車をテスト走行する。地図がディスプレイ上に表示されるはずである。